女子青年界第十四卷第十號（毎月一回一日發行）
大正六年十一月一日發行　大正六年十月二十八日印刷納本
明治卅七年五月七日第三種郵便物認可

女子青年界

第十四卷
十一月號

要目

大正六年十一月號

女子青年界目次

第十四卷第十號

FURS

D. KOMEYA

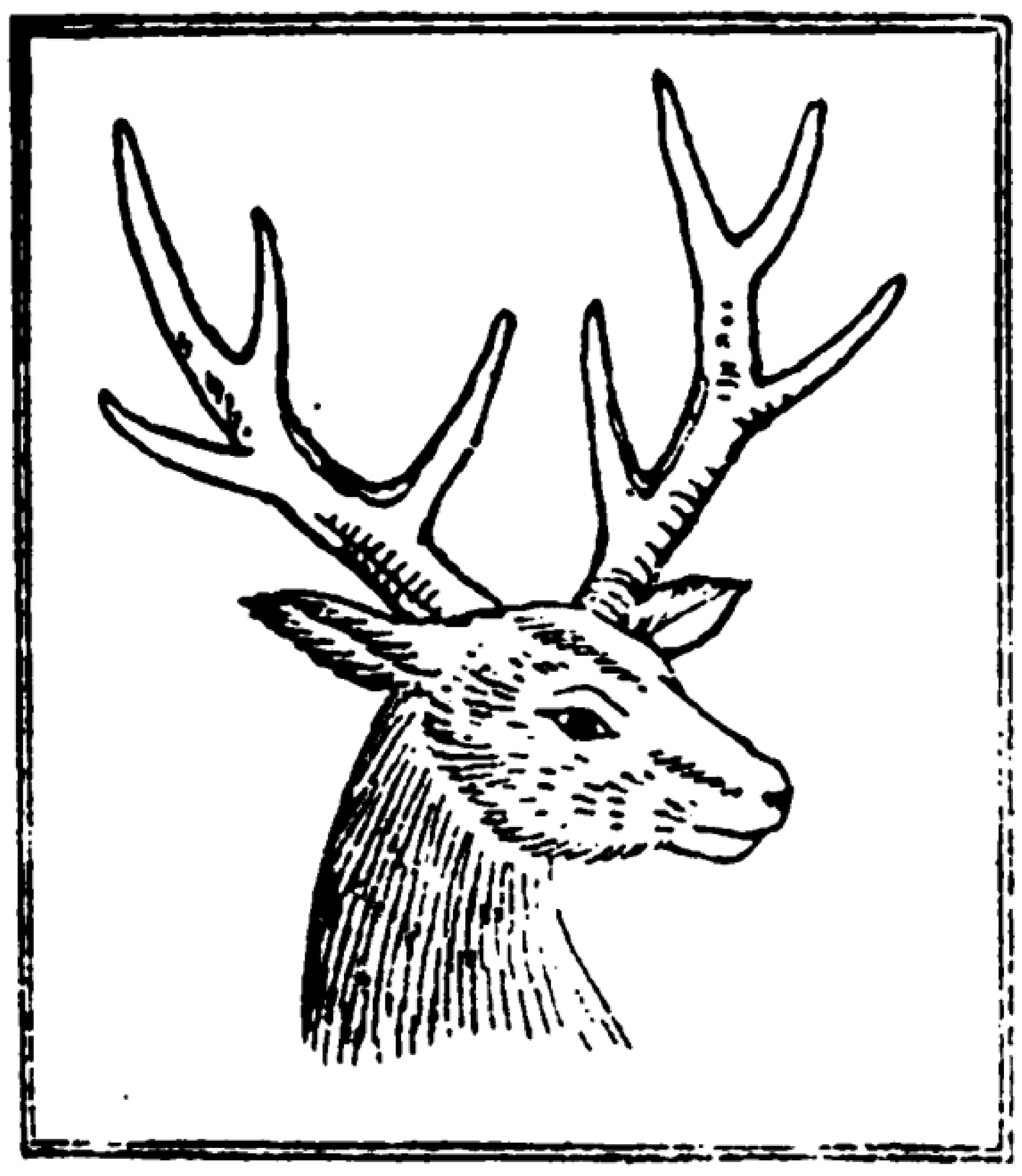
PROP. C. YAMAOKA,
(TANNER)

Furs, Coats, Muffs, Stoles, Coat Linings, Slippers and Feathers

No. 14, Benten-Dori, Itchome, Yokokama

Tel. 3370.
B-T.S.A. Tokyo 7574

MAIN STORE-NIKKO
Summer Branch Karuizawa



貴婦人令孃用

毛皮コート　襟巻　マフ　羽毛

スリッパー　絹裏地　毛皮製品

何れも最新流行形いろ／＼取揃へてありますから御贈答品として好適品であります、御注文御好みにより入念調製いたします。

横濱市辨天通一丁目十四番地

米屋號
毛皮貿易商

山岡毛皮店

山岡長七

電話三三七〇番
振替東京七五七四番

夏期出張所
信州輕井澤

MARUICHIYA

Manufacturer & Dealer in Silk Goods, Paper Goods, Stationery Calendars.

All kinds of cards and fancygoods.
Whole sale and retail
Mail orders executed promptly.

No. 8, 9, Bentendori, Itchome, YOKOHAMA

PHONE. No. 4751

美術雑貨製造卸小賣

丸一屋

橫濱辨天通一丁目八、九番地
電話四七五一番

VERYTHING PHOTOGRAPHY

EXPERT KODAK FINISHER

S. MIKADO PHOTO CO

29, Unemecho Kyobashiku
TOKYO JAPAN.
Tel No. 2272. Shimbashi

寫眞器械材料販賣
出寫併寫眞一般應需

美門商會

東京市京橋區采女町
廿九番地歌舞伎座前
電話新橋二二七二番
振替東京一九四九四番

前付二

御用の節は「女子青年界」の廣告で見たと御申添下さい

和本

基督敎とは何ぞや ■石坂龜治著 .05–.02
基督の事實 ■シムプソン著 .40–.04
讃美歌歷史 ■海老澤亮著 1.00–.08
ナザレの人 ■柏井園譯 1.[illegible]0–.08
敎師及敎授法 ■バークレー著 .20–.04
宗敎々育指針 ■フアウスト博士著 .4[illegible]–.08
人格不能論 ■田中達著 .30–.06
日々の力 ■根本正著 .25–1.00–.08
ヘレンケラー孃吾身の物語 .50–.08
耶蘇の人格 ■フオスデイック著 .60–.06
靈交錄 ■フオスデイック著 .80–.06
朱と紫 ■富永德磨著 .25–.04
神の我 ■エインズレー著 .15–.02
はなしの園 ■古谷新太郎著 .25–.04
苦痛の秘義 ■ブルークス著 .75–.08
信仰の勸め ■武本喜代藏著 .10–.02
ベテレヘムの厩 ■宮田了山著 .25–.04
人を導く人 ■ゴルドン著 .90–.08

文具

Bible and Hymns (和洋聖書及讃美歌)
Sunday school Supplies (和洋日曜學校敎材一式)
Stationaries
- Writig Pads (書翰紙)
- Envelopes (封筒)
- Note Books (手帳)
- Fountain Pens (萬年筆)
- Paper Fastener (紙綴器)
- Embossers (文字浮出器)

洋書

Alexander's Hymns No. 3. .... .58–.06
Alexander's Gospel Songs .... .58–.06
Christ in Everyday Life...Ed. 2. Bosworth 1.35–.08
Christian Standards in Life...J. L. Murray & F. M. Harris 1.35–.08
English Grammar Simplified...J. C. Fernald 1.65–.08
Good Health...F. G. Jewett .... .92–.08
Illustrative Teachings of Jesus...Geo. H. Young 2.20–.08
Life and Teachings of Jesus...Ch. F. Kent 2.90–.08
Manhood of the Master...H. E. Fosdick 1.35–.08
Meaning of Prayer...H. E. Fosdick 1.35–.08
Milton, The Poetical Works of John .... .85–.06
Mrs. Browing's Complete Poetical Works .... .85–.06
Music and Other Poems...H. Van Dyke 2.20–.08
New Educational Music Course. Intermediate Song Reader...J. M. McLaughlin .... .74–.06
New Testament of Our Lord & Saviour Jesus Christ with Notes .... .88–.06
Outlines of Composition & Rhetric 2.30–.08
Patience of God...E. A. Burroughs .45–06
Paul in Everyday Life...J. D. Adam 1.35–.08
Pupil and the Teacher...L. A. Weigle 1.10–.08
Schoolyard Athletics...J. E. Sullivan .... .30–.04
Seaside and Wayside, No. 1...J. M. Wright .... .6[illegible]–.06
Self-Reliance...D. C. Fisher 2.20–.08
Student Standards of Action...H. S. Elliott & E. Cutler 1.35–.08
Study of Child...Nature from the Kindergarten Standpoint.......... E. Harrison 2.30–.08
Care and Feeding of Children...J. L. Morse 1.10–.08
Care of the Sick Room...E. G. Cutler 1.10–.08
Care of the Skin...Chas. J. White 1.10–.08
Care of the Teeth...Chas. A. Brackett 1.10–.08

東京京橋區銀座四ノ一 敎文館 〔KYO-BUN-KWAN〕 振替一一三五七 電話京橋二五二

御用の節は「女子青年界」の廣告で見たと御申添下さい

「診察每朝及每夕　但祭日及日曜之他」

院長診察　月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京市麴町區三番町三十番地（市ケ谷見附內）

電話番町六二一番

東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤

院長診察　土曜日午後　入院診後應需

「診察每朝　但祭日及日曜又土曜日之他」

橫濱市山下町六十一番地

T. YAMAMOTO

EMBROIDERER AND DRESS MAKER

No. 61, Yamashita-cho, Yokohama, Japan

Tel. No. 3998 (Near the Grand and Oriental Hotel.)

EMBROIDERIES

SILKS LINEN AND COTTON CRAPES

READY MADE

Dresses Blouses and Under Wear

Always on hand at Moderate Prices

繡物商　山本商店

電話三九九八番

人參を服用する人はホシ人參丸を選べ

ホシ人參丸は人參の研究を以て名ある三宅博士が朝鮮人參の本場なる開城産中の最良品を選擇し是を科學的に精製したるものなり

帝國大學、農科大學、理學博士　三宅驥一先生勸奬

体力精力増進

ホシ人參丸

主効

神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、リウマチス、子宮血の道、腦病、神經痛、陰萎、營養不良、腎臓、

定價　廿錢　五十錢　一圓　二圓

東京京橋區傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電京一七八五、振東二〇五二三

◁各地藥店及特約店にあり▷

付前八

第十四巻
十一月號

女子青年界

大正六年十一月一日發行

會説

水門の擴開

"Opning of the Sluice"

河井道子

詩人テニソンは熱心なる基督者でありました、彼の神に對する情操は詩中に豐富であります、故に聖書の智識なく信仰心の薄き日本人にはいくら英文學に通達してゐてもイン、メモリヤム等の深遠なる宗教志想を消化することは出來ません。

此詩人が或時、グラドストンや、ホルマン、ハント等の名家と祈禱に付き親しく談り合ひて云ふには「祈禱は予に取り最も予の靈性と永生との間にある閘門を開放た樣なものである」と、意味深長なことばであります。

誰でも湖水や運河で水量に相違のある場合、水門の開閉に據りて水量、水力を左右することが出來ると知つて居ります。流水や堰止があると水車は動かずして何の役にも立ちません、又堰止と迄になりませんでも、小川などに木の葉や小石が落ちたので、水が止められる場合が澤山にあります。

テニソンは祈禱を水門に譬て、神の力と申す大水力を、無能無力の私共に注ぎて運轉せしむるは祈禱

と申す水門を開くのであると申たのであります。確に祈て經驗を積む人々は是に首肯ます、即ち假令神が持ち給ふ大原動力を我等に與へんとし給ふたとて我々の方から水門を開く丈の勞を取らなくては神御自身も我等をいかんともなしえぬことであります、聖書には祈禱の記事が澤山に御座います。私共はキリストの御言葉を信仰したらば、祈と申特權をもつと〳〵活用利用いたすのでありませう。我々は勿論自身の爲に祈るが大切ではありますが、其ならば如何に熱心で眞心が有と申たとて、他の宗教信者と少しも違ません、宗教と申ものは皆祈禱を中心として居りますゆゑ、皆祈るのであります。某氏が『佛敎の一宗派では只に念佛を唱へてさへをれば其で生佛して救はれるから理屈など喋々しく云はなくて可い』と云ひますから、其では他人のため、人の幸福のため向上のため、誘惑に勝つため慰藉のため等の祈禱は如何ですかと問ひましたらば、其麽ものはないし、不用ぬとの返事でした是が基督敎の祈禱と全く異る點でありませう、人のために祈る執成の祈、仲保者の祈が最も大切であると敎へられてゐます。基督御自身は人類のため弟子のため不斷いのられましたに相違ありません、短き福音書中に度々基督の仲保的祈禱の斷片をみます。例へば約第十七は全部人の爲の祈でありまして、其中に「彼等」と云ふ言葉が日本の聖書では廿一あり英書なら四十三ありますゲッセマネの祈は人類の罪の爲に血涙を以て神に訴へられるものでありませう。ペテロが自負心に充された時に主は警戒をされて後に「然ども汝の信仰絶ざるやう汝の爲に祈れり」と云はれ、唯に友人の爲のみならで虐遇迫害ものゝ爲に祈禱せよと命ぜられたなど〻思ひ廻らすと、自己中心の祈だけでは祈の眞正の意味を完ふして居りません。ポーロの如き大敎師が、常に信徒の爲に祈ってゐましたが、「我ためにも祈れ」とて、信仰も弱く、身分も下賤い信徒に賴むだことは如何にも床しく慕しく思はれます。親が子の爲に祈ると同時に、子も親のために祈り、師

は弟子のため、弟子は師のため、主人は僕のため、僕は主人のために祈り合ふ様になつてこそ、神と人との間にある水門が開放されて偉大なる力が凡てに萬遍に行き渡るのであります。

十一月は例年通りに萬國キリスト教女子青年會の祈禱週でありますが此週間を如何にせば、形式にながれずに、利用することが出來るかは、會員一同の苦む點でありませう。若し海國の事情に委しい方があれば、其方に短く御話をして貰ふもよし、繪など集めて其國々のことを知るも結構であるし、雜誌や書物から調べて、女子の位置や活動などを互に談合ふも必要であり、或は歐米にある友人のため手紙をかく、東洋の極にある知人があれば信者、未信者を問はず、其友のために祈り又端書でも送るとか、支那人中に知つてゐる人がゐると其人と特別思ふなりして平素心にさまで留め居らなかつた友人などを思ひ出して神に祈るがよいとおもひます、恰度御正月に平素御無沙汰の方々へ手紙を出す様に毎日／＼心にとめてゐることの出來ない人々や、外國などのことに年に一度心を用ゐる様にするのが此週の一の目的であります。人間と云ふものは眞心より祈る人のためや事業のためならば、時間も金錢も費すものです、私共に他の爲の祈が不足ゆゑ他の爲に献金するなど重荷になるのであります、よく祈る者はよく人を助けます。人の爲に祈ることをせぬ者は、氣不精で容易に人のために盡しません。それならば出來ないかと申せば出來るのであります。喜んで己を忘れて人の爲めにする様な精神と其實行を神に依り祝され度いものです。或人は己を忘れて他にするなど丶自分の責任を放棄る如き眞似と習はれたならば大變だと申しますが、此等の批評家は利己と克己とを混合てゐるのであります。私共は元來缺點だらけでありますが、自分各自の職分即ち學生ならば勉强、事務員ならば忠實勤勉、主婦ならば家庭の整理等に熱心なる事愈々努める事は勿論ですが、其丈が責任で他は何の關係なしと申されません、學生で優等生で自負心、利己心の一天張もあり、學務に忠實な教育

家偏狹野鄙な者もあり、家政には非難すべき一點の餘地なき主婦にして慈善心の枯死した婦人も往々ありませう、我々はかゝる罪より救はれねばなりません。それゆゑ、よく働きよく與へうる豐な生涯に入らんには水門たる祈禱を貴重視しなくてはなりますまい。

諸姉は日本の女子青年會のため特に祈り特に援助を與へられん樣御願ひ申上ます、左の事項を格別にお祈り下さい。

一、女子青年會は傳道の精神と尚一層發揮する樣

二、移民問題につき正しく導かれ又是に必要な凡てのものを與へられんことを

三、大阪に着手するに當りて正しき道の教示されんことを

四、委員、職員、會員が皆神の靈に滿され愈々神と人とに正しく奉仕せんため

五、將來幹事養成所と、本部の建物と、修養會の場所との與へられん爲め

六、必要なる働人と資金とが與へられんため

七、本會が諸教會や、基督教主義の團體と協同一致の實を擧げんこと

□會告□

昨今本邦事務所で更迭がありましたので事務上色々の間違を生じ、殊に雜誌の發送等に不揕洩落有之誠に相濟みません、何卒御遠慮なく御申越し下さい、又雜誌未納分を御請求申上ました處、皆樣は快く早速御拂込下さいまして誠に難有く御禮申上ます。若し間違ひて御請求申上たならば　必ず御知らせ下さいます樣御願申上ます。

又御住所や御姓名が御變りでしたらば直に御一報被下度御願申上ます。

講演

仲保者の祈禱

山室軍平

私の話は今日この會合に適當であるかどうかわかりませんが、祈禱の必要と云ふことについてお話したいと思ひます。

（聖書ルカ傳十一章五節―八節引照） 之は祈禱のことを尋ねた弟子達の問に對して基督の答へられた例話である舊約聖書の中にも祈禱に關する記事が六百程あつて其の中四百五十の祈りがきかれたと云ふ事が記してある。新約も祈禱の書物で基督の御生涯には祈禱が充ちて居る、弟子達の記事を見ても使徒達の祈禱の記事であるしポーロの手紙を見ても切に祈て居る。から云ふ見方をすると聖書は祈りの書物である、祈ればきかれると云ふ約束の書である。但し如何に神が約束し給ふても、その半面には祈りがなくてはならぬ。實に今は祈りが少ないのであります、或人が宗教家の二百人程寄つて居る席上で、三十分程祈りをする人は手を擧げて下さいと云はれた時、手を擧げた人は極少數で、十五分間する人はと云はれた時は少し多く、それでは五分間する人はと云はれた時後に殘つた人達が手を擧げたといひますが、其中の一人はそれも疑はしいと云はれて後で、懺悔されたと云ふ事です、其人の云ふに朝起きて手紙十數本の處置をして委員會へ出る、とても祈りの暇がないと

云はれたさうであるがこの經驗は皆やつて居る樣です。ポーロが宿つて居つた家の人々が時々彼に話をしかけると、今神樣と話をしかけて居るから少し待つて呉と云つたさうであるが斯樣な人は極少ない、人と話はするけれども神樣と話をする事を後廻しにして居る、私共はかう云ふ事が多いのである、事務をする上に於ても何事に於ても祈なしでは力がないのである。基督教は祈禱を重んずる宗教である、但し祈りの中にどれだけ他人の爲に祈るかと云ふことが問題である。（イザヤ書五九章十五－十六引照）これは神樣が天から御覧になつて神と人との間に仲保者がない世界中を見渡して、人間らしい人がないのを不思議だと思召してあやしみ給ふたのである。神樣にも解せない問題が一つある、それは神樣から特權を頂きながら他人の爲に祈をする人の無いことである。基督は祈りの人である、ヨハネ傳十七章は他人の爲の祈である、その證據には（彼等）といふ言葉が三十餘もあるそれがエスの祈りである。基督は十字架上に於ても尙他人の爲に（父よ彼等を免し給へ）と祈られた、徹頭徹尾人の爲に祈つておいでになる。モーセはシナイ山から國民の爲に（我を亡ぼし國民を救ひ給へ）と祈つた。アブラハムはロトの爲に祈つて其の祈りが聞かれた。其の事を考へて今の短かい例話を思ひ出すと、或る人がパンを求めに來た朋輩に與へるパンがないので隣へ貰ひに行つた、あの話は他人の爲に祈れとの敎訓である。

一、他人の爲に祈ること、これは明日まで待つと云ふ祈ではない、其處に程度があるそれを私共は認めて居るかどうか、我等の周圍にも同じ軒の下にも餓えて居る人がある、それを我等は認めて居るかどうか。

二、他人の需要を見て愛の動機にかられた祈。隣の家に行つて朋輩の爲にパンを求めた動機は愛である祈の缺乏は愛の缺乏である、ヨハネ傳十一章には（エス淚を流し給へり）とある、これは愛の動機から出た祈である、故に死人を蘇生させることが出來た

ルーテルは腹の減つた時よい說教が出來ると云つた
私共に愛を感じて居る時にはよい祈りが出る。
三、自分の無能力を知ること、自分の家にはパンがないから隣へ貰ひに行く。(我弱き時に强し)自分の弱いと感じた時に强いのである。モット博士は外國に傳道に行かれた時宣敎師を送つてくれる樣にと本國に賴んだ、而しそれでは未手が足りないこんどは土着の人でもよいから助けてくれないかと云つた、而しそれでも駄目であつた、最後に神樣の御力に依らねばならぬと云ふ事に氣が附いた。
四、信仰。友達は必ずパンを吳れると云ふ信仰を以て出掛けて行つた、祈をするとき心に願ふものは必ず與へられると云ふ信仰を以て祈ることが必要である。體力や腕力は鍊へると段々發達する樣に信仰も用ひると段々成長するのである。
五、根氣よく祈る。夜友達の爲に根氣よく隣へ行つた。何でも根氣よく祈ることが必要である。或時大石義雄は赤穗の家老で製鹽事業の許可を願ひ出たが何年經ても返事がない、漸く十三年目に家老を呼び出してそれを許した、大石は出水を防ぐ爲に山林に樹木を植えさせて置いて之を許した、大きな人には大きな計畫があるものである、神樣は大きな祈りにきかれるのである、愛の動機に勵まされて友達の爲に寢て居るものを起してパンを求めた、無理なやうであるが少し位無理な樣に見えても時には無理がきかれる、これが祈である。

天に在す父は聞くらむ小夜更けて
　一人むすめのかげに祈るを

これは奥野昌綱氏の歌であるが、何でも一生懸命に祈る時はきかれるのである。
ジョージミュラーは孤兒院を建てる時千萬圓の金を手に入れた、その他三萬の靈魂を祈りに依つて神に導いた。或人が其偉大なる働に就いて何故出來たかと尋ねたら左の五ケ條の答を與へた。
一、神は彼等を救はんと思召さるゝ事を信ずる故
（テモテ二一章四、ヨハネ五章十四、引照）

二、基督の名に依つて祈る故
(ヨハネ十四章十四、引照)
三、神は私の祈りを聞き給ふことを信ずる故
(マコ十一章廿四、引照)
四、心を潔くして祈る故
(詩六十六篇十八、引照)
五、根氣よく祈る故
(ルカ十六章七引照)

どうか祈禱をつとめ特に他人の爲めにとりなす祈りを心掛けたいものである。(修養會にて文責記者)

獎勵

廣岡浅子

私は年は非常にとつて居りますが、クリスチャンとしては極幼稚で皆樣よりは妹であります。而し私は日本の婦人として、今日の儘であつたらどうであらうかと云ふ事を危ぶみます、又皆樣もさうお叫びになります。然し今日迄永い間の習慣にとらはれて破ることも出來ず又壓迫の爲にどうもならない種々な困難なる事情があるのであります。私は戰後の日本を思ふ時、眞に此の儘では繼續は危ぶまれるのであります。どうしても二十世紀は兒童の世紀であり、婦人の世紀であります。今戰時に於て婦人が立派な働をしつゝあることは、皆樣は西洋の書物をお讀みになるから御承知の事と思ひます、私には英語が讀めませんから、西洋の眞相を知ることが出來ません、これが私には一番の苦痛であります。然し皆樣の御同情と年寄の經驗とで今日獎勵をさして頂くことは、神の御前に幾分なりと信仰に這入つた爲に主の御手が加はるからであると云ふことを感謝する次第であります。

此處で皆樣と共に考へたい事は、男子の間にたち誘惑に打勝つと云ふことで、婦人の力を國家社會に及ぼすことは困難の事でありますが、これを見逃がしにして居れば怒濤の中にたゞよわねばなりません。クリストを信じる者は、困難に打勝つて主の御顏を仰ぎ見て心を定める時には、勇氣は百倍して成功することが出來ると云ふことは信じて疑ひません。私の樣に學問も知識もない老婆で片足を棺に入れて居る樣なものでも、主の前に祈つて「主よ語らしめ給へ」と願ふときには三千人四千人の人を動かすことが出來ます、毎日朝晩三回の演説をする時、廣岡淺子ならぬ何か靈の力が與へられる。主の前に眞に我を捧げ凡てを捧げて「主よ我此處に在り用ひ給へ」と祈る時、靈の御感化あることを知ります。皆樣は高等の教育をお受けになり、英書もお讀みになり、相當の地位をもたれ私よりももつと正く健全に考へらるゝ方々であると思ひます、而し唯勇氣をお出しにならぬ事はどうでせう。「主よ何か御用を爲さしめ給へ」といつたら必ず皆がこの艱難を切拔けることは當然の事であると思ひます。

我々は眞に國家の毋とし妻として、民本主義の國是をしかなくてはなりませぬ。これ日本をして世界に光輝あらしめる所以であると思ひます。婦人が眞の力を出し、人のことを破壞するのでなく共に〱に助けて、本當に婦人の事業を發達せしめる樣にしなくてはなりませぬ。青年會にしろ矯風會にしろ、成功する樣にしたいと思ひます。只今私の申上ましたことに御賛成下さるならば、具體的にどうしたら出來るかと云ふことを考へて見たいと存じます。もし御得心がないならば何處迄も説明致したいと思ひます。反對なり同志なり、もつと具體的に考へたいものであります。（十月十三日修養會にて文責記者）

□　　時　頼

此世にて物の少しも持ちたきは貧しき人に施さんため

□　　宣　長

折々に遊ぶ暇はある人の暇なしとて書よまぬかな

昔と今の信徒

内務省囑託　留岡幸助

(一)外部の空氣。我儕が信仰したる時は切支丹邪宗門の法度廢せられてより、餘り間も無きにより、一般が基督信徒に對する觀念が今日とは全然相違して基督敎邪宗門、基督信徒は魔法使と云ふ考で、子供より大人に至るまで此の思想浸み渡れり、從て基督敎を信ずるにも樣々の故障あり、殊に、

(二)佛敎、神道、時としては儒者の反對頗る强きもの有りたり。

(三)第一、職業關係。官公吏、實業家、將校兵卒、各種の敎員殊に小學校敎員となること中々困難なりき、第二、社交上の困難、友人間に絶交等のこと珍しからざりき。

第三、冠婚葬祭、殊に結婚のこと最も六ケ敷かりき

第四、親族關係、基督敎を信じ受洗するには、父母兄弟叔父母祖父母等より故障あり、容易に受洗の許可を得る能はざりき、余の如きもこれがために、一年延期するの止むなきに至れり、若し强ひて受洗せんとせば『耶蘇は君に不忠、親に不孝なる故に、親の云ふことを聞かぬ』と攻擊せられたり。

第五、蓄妾を止め禁酒禁煙を實行するにあらざれば敎會に入る能はざりき。

第六、安息日を嚴守ること、實業家の此の日を守ることの、當時如何に六ケ敷かりしかは想像の外なりき。

第七、敎會には試驗委員なるものありて、敎會に入るには嚴重なる質問をせしものなり、余の如きは一度落第せしなり、今より此を見れば、

(一)外部の空氣は却て基督信徒を歡迎するも此を嫌

ふことなり。
(二)反對たりし神、儒、佛は其後相互の交際密となり兩者の狀態了解せらるゝに至れり、故に互に講習會等に招きて異宗派の說を聞くに至れり、又政府は三敎會合同の如きことをなして、一堂に彼等を集めて親和協力させんとせしこともありき。
(三)職業關係より云ふも、基督者たるがために、職業に就き難く又は故障ありと云ふが如きこと無し、寧ろ眞面目の信徒は各方面に歡迎せらるゝものゝ如し。
(四)社交上故障無し。
(五)婚禮にも六ケ敷しきこと尠し。
(六)親族關係も餘程の頑固ならずば、信徒たるを拒むものなし。
(七)試驗委員あるも敢て六ケ敷からず、却て授洗を安賣するの嫌あり。
(八)蓄妾そのまゝでは敎會に入れざるも、飲酒喫煙は不問に付する所多し。
(九)安息日の問題は棚に上げて言はず。
斯の如く社會の空氣微溫く、敎會も又入會者を容易に受くるを以て、入門の條件殆ど無きに至れり。是を以て多數形式の基督信徒否墮落せる信徒無氣力なる信徒冷かなる信徒、比較的多數となるに至れり。
○先哲偉人の弟子を取りし條件。
(一)二宮尊德―朝起―繩紙の法を以て弟子を入れたり。
(一)荒木又右衞門は俠客に夏は日向を步るき冬は日陰を步く條件を以て入門を許可せり。
(三)孔子は束ね以上を納むるにあらざれば、弟子になさず。
(四)釋迦は出家(妻子を捨てること)を條件として弟子を取れり。
(五)發明家エヂソン氏は如何なる博士其の家に學びに來るも、拭き掃除をするにあらざれば入塾を許さず。
(六)海軍兵學校の拳骨敎育、我家庭學校にも朝起水汲の法等を設けて徒弟を練磨す。
(七)我國武士の敎育は以來文武兩道を以て敎育の骨子となせるものゝ如し、武は訓練を意味し、文は單

に物を教へること、兩者相俟て全きを得るなり。
基督入門の二大要件。
(一)日々己を棄てること。
(二)十字架を擔ふて從ふこと。
又或時基督は『多くの艱難を經て神の國に到れ』と激勵されたり。
教育と宗教に己に勝つこと、十字架の如き難事を耐え忍びて、道を行ふことは最大切なり、古語にも此の種の教訓到る所にありたり。
(一)成レ事在ニ窮苦之日一。
(二)艱難汝を玉にす。
產語に曰く、
(三)不捫糞水不能成善農
　不斷筋脉不能成善工
　不傷肩脊不能成善賈
　不踏死地不能成善士
孟子曰く
　天ニ將降大任於是人一必先苦ニ其心志一
佛人ムッセー曰く、
人は丁稚にて苦痛は其の主人也、人は苦むにあらざれば彼自から知る能はず。
ワグネル曰く、
如何に多くのことを人は涕を通してのみ明かに見得るか。
和歌に
　落ちぶれて袖に涙のかゝる時
　　人の心の奥ぞ知らるゝ
ワグネル曰く、
活動と奮戰苦鬪とは幸福を產むの母なり。
斯の如く人は苦むにあらざるよりは心の練磨も精神の向上も信仰の練達も、成し能はざるもの也。
此の意味に於てエスの
義の爲に迫害に遭ふ者は幸福なりと云はれたるは尤も意味のあることゝ信ずる也、眞正の基督者には己に克つこと、十字架を負ふこと、最大切なることを知るなり。然らば則ちエスの入門につきての二大條件は、道理ある要求にして、併せて正々堂々の條件と云ふべき也。

萬國基督教女子青年會祈禱週

「願はくはエホバの前にわが願ひし是等の言日夜われらの神エホバに近くあれ而してエホバ日々の事に僕を助け其民イスラエルを助けたまへ、斯して他の諸の民にエホバの神なることゝ他に神なきことを知しめたまへ」

敬愛する會員姉妹方現今の如く生死に對する永き恐ろしき經驗中に吾々は往々にして疑惑困難とに依つて惑ふ事ありとは云へ「神こそ主にして其他に頼るべきものなし」と云ふ眞理を遲々ながらも訓へられ候、吾々は恰も水上を歩むが如く誠に乏ふき生活に候へば萬の物に力をもち給ふ基督に著目するの必要を切に感じ候、神は其御計畫を實行されつゝある今日眞に見る可き眼と聞く可き耳を要し候、繁雜なる日常生活に吾等は聖旨を守り神の訓へ給ふ御聲を聞くを忘れ勝ちに候へ共祈禱週に依つて覺醒され候祈禱以上に必要なる職務ありと思ふは間違ひに御座候、祈りは神と人との靈感の源なるを覺ゆると同時に祈りなき所に吾等の事業の永續せざる事を充分に會得致し度候、全世界の青年會會員を繋ぐ唯一の連鎖は祈禱に御座候、左樣に候へば昨今の如き大戰亂の間に於ても吾等の靈魂を神に任せ得るの秘訣は此處に有りと信じ候。

（萬國青年會々長　ワードグレーヴより）

主題「萬民に於ける神の聖旨」

十一月十一日（日曜日）「舊譯中の前兆」

同　十二日（月曜日）「人間の反抗」

同　十三日（火曜日）「キリストの宣言」

同　十四日（水曜日）「キリストの苦悶」

同　十五日（木曜日）「使徒ポーロの說」

同　十六日（金曜日）「成就させせんが爲神の召」

同　十七日（土曜日）「完結」

十一日（日曜日）　**萬國女子青年會日**

「萬民に於ける神の聖旨に對する舊譯中の前兆」

（聖書引照創世記十二章一―三。列王記略上八章四一―四三、五九、

六〇、詩篇百二二篇七—十一、十七—十九、以賽亞書十九章十九—廿五）

感謝　戰時にも拘らず諸國女子青年會の關係を保ち尚新たなる支部の設立されしこと、より多き感興を青年會事業に惹起せしめしこと諸種の要求に應じ得しこと、志道者の信仰と勇氣又危險なる時に當りて働き人全體に神の守護のありしこと、特に總ての働に神の祝福の顯著なりしこと。

祈禱　萬民に於ける神の聖旨に喜んで同情を表せんが爲。神は萬國女子青年會を通じて全世界の婦女子を再び愛と一致の精神に歸へらしめ給ふ信仰を得んが爲。各地の委員が皆婦人問題に對して信仰、勇氣、理解力、同情等を豐かに與へられんが爲愈々神の力に信頼するやう。

註　戰爭により本部女子青年會の働の區域を擴められ從つて各國よりの負擔金を益々必要とす。此祈禱週に於て如何に僅かなりと雖も世界人類を助くるの基となる事を思ひ其幸福の念を增す事を望む。

十二日（月曜日）　亞弗利加日

「萬民に於ける神の聖旨に對する人間の反抗」

（聖書引照約拿書一章—四章）

感謝　南アフリカ青年會が困難の時期に於て尙ヨハネスバーグの新會館建築着手。ケープタウンに休養所を與へ幹事養成所を開き給ひしこと。

祈禱　多くの婦人が青年會事業の爲に身を捧ぐるに至らんことを。

註　南亞弗利加は歐洲人の爲七個所に支部を有し其六個所には宿泊所あり。東ロンドン市には町の中央に休憩所を有す。人口の多くは土人及黒人なり。大都市は主に英國及和蘭人多數を占め教師看護婦女中店員等あり又石鹼、煙草、菓子製造會社の女工もあり、一支部はプレトリア市外に於ける癩病院に癩病人の爲働を開始せり。

埃及とナイロビ日

感謝　ミス、グースサンダースの訪問。カイロに適當たる家の與へられしこと。六十ポンドの資金募集に對しての恩寵。女學生徒間の働開始。

祈禱　人種雜踏の中にありて其指導を誤らざる爲。クリスマス前に凡ての負債の皆濟されん爲。幹事委員などの選擇、雜誌の著手等。

註　埃及に於ける青年會の宿泊所及倶樂部は英人、佛人、伊太利人の若き姉妹にて看護婦教師タイピスト商店員等により使用せらる。カイロ及アレキサンダーには青年會ホームありて常に滿員なり。東西アフリカ青年會は教會と連絡あり、女子は主にミッションスクールにて教育を受け主に農業に從事せり。ナイロビに於ける青年會は其會館設立の爲資金を募集し本年末には新會館を得べし。

十三日（火曜日）　亞米利加日

「萬民に於ける聖旨に對するキリストの宣言」

（聖書引照路加十一章廿九—卅二、約翰十章一四—一七、馬太八章五—一三、十五章廿一—廿八、約翰十二章廿—廿三、馬太廿四章十四廿八章十八—廿、路加廿四章四五—四九、使徒行一章八、）

カナダ

感謝　全國に於て軍器製造所内の婦女子に特種の働を開始せしこと工場に於て女工に接す機會の擴張せられしこと。

●●新禱　外國派遣の爲適當なる幹事の與へられん事。大學卒業生が青年會の働に於て基督教的奉仕の大機會のあるを認識するに至らん事を。日本婦人留學生殊に坂本花代大呑久子其他の者が身靈共に祝福され使命を果すやうに。

●註　カナダには青年會員一萬九千、青年會の事業は廣大なる地域に及べるを示す。其移民部は單身來りし婦人等を安全に保護し且旅行者の友と連絡を保ちて彼等の旅行を保護せん事を力め居れり。學生青年會は大學、其他の學校にありて聖書、傳道、社交事業を主とする夏期修養會及學生郊外集會は大いに力あり外務部は二人の働人を印度に一人を日本に尙今秋外國に送らんとしつゝあり。

合衆國

●●感謝　大傳道市ピリ・サンデー集會の時に於て十週間數千人の人々に樣々の法に於て奉仕せしこと。全國に渡りて兵士屯營所に奉仕せし事。歐洲に於ける捕虜事業の爲女學生の獻金及忠實なる研究の爲

●註　合衆國青年會々員總數は三十六萬二千百九十一人にして、其中赤十字社の修業證書受領者九百九十六人、青年會經營日曜學校一萬一千九百一校、傳道研究會員數一萬二千八百四人、社會問題研究會員數三千三百八十二人、敎育部會員六萬二千四百十七人、アメリカン、インディアン女學生會員一萬一千四百十二人、黒人女學生會員一千九百四十八人、外國派遣幹事四十六人等。

十四日（水曜日）　亞細亞日

「萬民に於ける神の聖旨に對する基督の苦悶」

（聖書引照、路加四章一六—三〇、馬可十一章一五—一八、コリント前書一章一八—廿五）

支那

●●感謝　有意なる婦人が指導者として現はれ來りし事青年會の良感化の普及する事。廣東支部の驚く可き成長の爲。

●新禱　中央委員に英斷の識の與へられん事、國內騷亂にて婦女間に於ける傳道の妨げられんが爲青年會に入用なる建物資金等の與へられん爲。雜誌、修養會、學生の働等の祝されんが爲。

●註　支那青年會數五十六、會員三千八百六十二人、外國に請求しつゝある幹事の數四十人、夏季修養會は六個所に於て開かる。同會にて體育科開かれ十六人の卒業生を出す。

印度

●●感謝　キャンプの五個所に開かれし事。各支部の訪問されし事。幹部の奬勵されし事。

●●新禱　十七人の幹事の與へられん事。養成所の計畫の爲好機會を逸せざらんが爲。

日本

●●感謝　全會の進歩發展の爲。移民事業開始の爲。二個所に開かれし修養會と其好結果の爲。委員職員會員等益々會に對する感興の增加せし事。大阪に幹事二名を送りし事。新たに米國より幹事の渡來せし事。

●●新禱　經驗ある働き人の與へられん事。大阪の新事業に指導あらん事を。神戶長崎に新事業の開かれん爲。多く青年會に獻身せんが爲日本女子留學生が外國に於て其任命を果さんが爲。青年會に關係せる凡ての者が新の精神にとみ他に與ふる念を養ひ高潔なる思想をも

ち嫉妬を棄て眞に共同一致をはかり得るやう。

註 日本青年會支部數二十八、內二十五は學生青年會なり。會員約三千八百人。

十五日（木曜日） 濠洲日

「萬民に於ける神の聖旨に對する使徒ポーロの説」

（聖書引照羅馬九章三、四、羅馬一章一四、コリント前書十二章一二―一四、エペソ三章一―七、ガラテヤ十二章二六―二九。）

感謝 大會に於る熱心と信仰と希望とを與へられし事。新たなる幹事を得し事。過去五年に於ける事業の進步、修養會及び養成所に於て喚起せし奉仕の念に對し。

新禱 今年中數會々員數と聖書研究の人數の增加せんが爲。教育と信仰を兼ねたる婦人多く幹事にならんが爲。永久的中央會館と養成所の與へられん爲。特志幹事の增加せんが爲等。

註 濠洲婦人の多數は教師看護婦女工等をなし其家計を助く、特に戰爭の爲今迄男子にのみ營まれし事業も女子に開放され數百の婦女子軍需品製造に從事しつゝあり。移住問題は濠洲に於て大切なるものにて青年會は歐洲より來る婦人保護事業計畫中なり。又外國部にては東洋傳道を大いに奬勵し本部より印度及支那に幹事を派遣せり會員數約五千七百人、ニージーランド三千二百人。

十六日（金曜日） 歐洲日

「萬民に於ける神の聖旨に對して成就させんが爲神の召」

（聖書引照、馬太廿五章卅一―四六、特に卅二節馬太廿四章六 七―一四。）

瑞西

感謝 紐育の幹事養成所より幹事歸國し爲に事業の擴張され勇氣增加せし爲。

新禱 軍需品製造所の職工間に起せる新しき事業につきて。

註 會は四十年間の歷史を有す。今旅行者の世話をする幹事の必要甚だし。

佛蘭西

感謝 戰爭三年間に於ける青年會の健全なる進步の爲。新支部の爲中央委員に與へられし祝福。吾等の必要に應じ日々神の與へ給ふ慰藉について。

新禱 占領されし土地に於ける支部がこの恐ろしき時に當り神の力と助けを證明せんが爲。基督に人を導くの外其以上の大望のなきを悟るに至らんが爲。

註 困難中にも拘らず戰爭中十六の新支部を增す。救濟、慰問事業各地に盛なり、特に病兵の爲に盡力す、困難の中にも會費寄附は平時よりも大に增加す。

諾威

感謝 凡ての大なる機會に對して。

新禱 教育あり餘力のある婦人間より指導者の出でん事。若き女子學生女工等の働きの爲。

註 支部五十、會員數三千三百九十六人重に教師事務員女中等の會員を有す。

丁抹

感謝 會の進步の爲。養成所好結果の爲。

祈禱　會が全國に於ける祝福の基たらん事。
註　領地中に支部を有し外國傳道に熱心なり。

十七日（土曜日）　歐洲日續き

「萬民に於ける神の聖旨に對する完結」

（聖書引照、默示五章九、十、七章九―一七、廿一章廿四、廿二章二―四、）

和　蘭

感謝　今日迄繼續なし得し事。會員が共同し得し事。
祈禱　會員個人生活に於て忠實にならん事。
註　支部四十、ジャバに二、會員數約一千九百人、石炭缺乏の爲冬期は閉會の止を得ざる諸支部あり。青年會は他の婦人會と共同して社會的事業に從事す。

葡萄牙

感謝　働きに神の助けありし事。
祈禱　赤十字社を通して會員が一層忠實に働かん事を。全會にリバイバルの下らん事を。
註　羅馬教が國教たりしを以て今や其反動として凡ての宗教に對して冷淡の傾向なり。道傳困難なるが故に其必要も又多し、青年會の發展中々困難なり。

露西亞

感謝　首府又モスコー其他の市に於て若き婦人を保護し得し事。又不思議にも必要なる物を與へられつゝある事。米國より幹事數名渡りて活働を開始せし事。
祈禱　至難なる時局に當り同情の念の增さん事。悲しみのうちに天に在す父なる神に信頼して神の國がロシヤの家庭に擴張せられんが爲。
註　青年會は信徒の間にのみ限られ居れり。今政界動搖の爲困難甚だしきも會員信者等の活動目醒し。

伊太利

感謝　戰時に於て本會ホームが利用されし事。
祈禱　指導者が當世の新しき青年女子を忍耐と智慧と愛とを以て正しく導き得ん爲。戰爭にて阻止されし事業の開始と共に進歩させん爲。凡ての女子が靈性の恩寵に浴せん爲。
註　青年會數四十五、會員數約千三百人、至難の國なれども追々青年會が根據を固むるに至れり。傳道聖書研究など盛にして佛國の會と協力して一人の本部幹事を維持す。

英國アイルランド

感謝　戰時に於て婦女子が精神化されし爲青年會の機會の擴張せられし事。軍需品製造所内の働。特別事業の爲財政上の補助を受けし事。英佛に於ける婦人間の軍事働きの爲。
祈禱　戰時中に青年會と關係を有せし婦女子が永久に其關係を繼續し高きに進まんが爲。キャンプ修養會其他の働きの擴張されんが爲内外國傳道の盛になり働き人選擇の宜しからん爲。必要なる資金の與へられん事。
註　戰時中に於けるクラブは八十個所に設置され軍需品製造所附近に休憩所、寄宿舍等を設けて婦女子を保護し男子青年會と協同して

戰地に活動す。

瑞　典

●感謝　支那に代表者として幹事を派遣し得し事。本部に巡廻幹事の資金を得し事。

●祈禱　諸集會にて得し印象と奬勵との永久的ならん爲。働人の與へられ困難の時期に於て事業の繼續されん爲。各階級を通して信仰の復活せん爲。

註　靑年會數四十三、會員數約四千五百、少女會員數千七百、諸所に寄宿舍休養所あり。傳道の精神盛にして五人の外國傳道師を維持す。

ベルギー

●祈禱　ブラセル市に附居殘りたる會員や諸所に散在せる會員が如何なる場合にあるとも神の保護の下にあらん爲。

●附　アテンス、バルゲリヤ、獨逸、墺太利、ハンガリーよりは何等通信なし。

工場訪問

陶山よね

今は夜十二時頃です雨のショボ〳〵降る音と淋しげに鳴く虫の音をきゝつゝ書いて居ます。先生今日はほんとに氣持のよい日でした、いつかお知らせ致しました製絲工場に參りました。午後六時過ぎに敎會の方(傳道師でせう)に誘はれて洋傘をもつて雨模樣の空を危ぶみつゝ小一里の道を徒歩で例の私の急ぎ足で、長い〳〵津山町を通つて十八丁の長い松原を過ぎて大きな工場に向ひました。廣いと云ふ事は兼ねて聞及んでゐましたが誠に驚き入りました。導かるゝ儘にいつ果てる共分らないそれこそ長い〳〵廊下を傳たつて女工のワイ〳〵云ふ聲を耳にしつゝ敎育部、衞生部、事務室に入りました。まづ第一に感じました事は夫々主任の方々のゆかしい態度でした、何とも云はれぬへり下つた樣子、そして凛とした處のあるのは有名な會社だけあると思ひました。此會社は丹波の郡是製絲會社の支部で此本社の社長たる波多野氏は基督敎信者であつて米國にも非常に信用のある人である事は誰しも知つて居るのですが、ほんとに感心致しました。坪數は一萬四千坪であつて今の處六百人時には七百人位になる事もあるとの

事です、女工は五百人程居るそうです（いつか七百人と聞きましたが）それで豫備生には六ヶ月間算術作文などを教へ六ヶ月は實習をさせ食べさして一日五錢給するのださうです、そして毎月二回位修養の話を聞かせる（教會から行つて居るのです）毎月三回十日目毎に休日を與へる、寄宿の部屋は十六疊に十六人で一疊に一人の割合です、豫備がすんだら腕次第で賃金を與へるのださうで今の處七十錢（食べさして）とつて居るのも有るさうです下手な者は十五錢位のもあるさうです、先づ平均三十錢だと云ふ事です、食べさして頂て七十錢なら仲々大したものですね。時間は十二時間働かせるのです併し其間には休息も入つて居るのです、朝五時卅分から朝食迄食後四十分休晝食後四十分休三時半に廿分休があるさうです、夜は交代になるので工場を見たかつたのですが夜分ですから失禮致しました。八時にベルが三度鳴るのです一切りワイ〱云ふてゐましたが靜まつたと思ふと「どうぞ其れでは此處へ」と云はれる儘に女工の集まつて居る大きな食堂に參りました（講堂はまだ出來て居ません）這入つて目に入つたものは正面に大きな額が掛つて居た事です（ハテ何が書いてあるのか知らん私共には直ぐ聖句でもと思ふものですから）よく見ると洋紙に「うすぎせぬこと、はらまきをすること、ねびえをせぬこと」など書いてある。まあ何んと可愛らしい事！と思ひました。入ると皆私を見てニコ〱してゐるそして神戸の修養會を直ぐに思ひました、あゝニコ〱は實によいもの！傳導師の方の話の後教育部長が私を紹介してお話をせよとの事で、私も始めてこんな處で話しました、又「ニコ〱しませう」を話しました、何しろまだ宗教的に話す事はしてゐないやうですので一寸迷ひました、許されゝば時々行つて見たいと思つてゐます女學校が中毒してゐるので無學なこんな子供を見るのが何共云へぬ快さです、ぜひ宗教的にやり度いものだと思ひます。私は招れたのでも何でもありません、私から參觀に行きましたのに歸りには車を頂いて實に恐れ入りました。歸る途すがら早くこの事を申上げやう明日になると又認められぬからと思つて亂筆でこれ丈かきました、私工場の事はよく知りませんから他の工場と比較する事が出來ませんが此工場はそんなに惡くない樣に思はれます如何でせう。

□和歌

辻村靖子

哀悼某博士の薨去をいたみて

天の原かぜに消え行く白雲のゆくへにたくふ君ぞかなしき

死ぬといふは厭はしものと戯れてのたまはしゝかまこととなりぬ

年若き人の死をいたみて

秋霧のまがきにさける朝顔のてる日にあへぬいのちなりしか

秋のころ

みなし子を養ひとりて朝な〳〵あさいせられずなれるころかな

初秋

白雲の飛行くみれば小墾田のわさた穂にいでぬ初秋のかぜ

秋霽

拭ふこと今朝ははれたりむかつをのはやしの杉の數もよむべく

秋雨

かぜに折れてさける紫苑の一本のうすむらさきを秋の雨うつ

長崎ゆき

河井道子

今は十月二十日の夜十一時過ぎて、港内碇泊中の船舶の鐘、靜な四方を破つて響てゐる、犬の遠吠に、此家の病犬が和するも夜の氣分を增させる音樂として聞けば面白い。明日は多忙らしいから、大急で長崎に於ける一日間の事を報告しよう。

東京を出立したのは十八日の午前で十九日の夕方長崎に着き男子青年會主事の夫人ミセス・ツルーマンと、矯風會々長奥夫人と副會長鐸木夫人とに迎へられて山手のツルーマン氏方に御世話になる事になつた。東京から八百七十一哩を一晝夜半で馳るのは西洋ならば何でもない速力であるが、日本では實に最大急行なのである。門司に着すると俄に暑くなりまさか九州故にかく暑い譯でもあるまいが、夏に立歸つた思ひして車中一同疲勞の樣子で美しい景色を樂む者は無かつたらしい、車中でする書物も澤山持參したのだが、頭腦が我儘を云ひ出して役に立たぬ、讀書とおもふと眼が怠け出すし、氣ばかり落付かない中に到着したのである。

一體此地に何で來たかと云へば、女子青年會が橫濱で渡米する婦人を世話する樣に長崎にも同じ事業を起したいと平素心掛けてゐたが、先づ土地の方々の協力を仰ぐが第一と氣付き、ツルーマン夫人にお願ひして當地から渡米する婦人等を訪問して、心得をきかせて貰ふ事にした處、當地の矯風會の會長奥夫人、副會長鐸木夫人が協力されて、知事や縣廳の役人方や、市中の有力者に此事業を訴へて同意を得、遂に每月二回縣廳に出ては、病氣等の試驗をされる爲に詰掛てゐる移民に心得や、注意を與へられつゝ

今日まで熱心に盡力されて居たのだつた、夫で一度本部の者が爰を訪問して將來の事業の根據を固める御手傳をする事となつて出張したのである。奧さく子夫人は矢島揖子女史の令姪で、徳富氏の令妹であり、鐸木操子夫人は「婦人の友」主任の羽仁とも子氏の友人であられるから御兩人とも實に公共事業、風紀問題には献身的に働かれる。加之に奥姉の御主人は活水女學校の教頭、鐸木姉のは東山學院とて日本基督派に屬する學校の教頭で在らるゝから皆傳道に盡瘁されて多くの經驗を持つてゐられる。かく多忙の主婦が斯く傳道的公共事業に活動さるゝは何よりの感謝である。

今朝は九時に知事島田剛三郎殿を御自宅に訪問したらば既に御出勤とき、御夫人に面會して事情を陳述して縣廳に行き、知事、保安課長、警察部長、衛生課長に面會して用談をなし移民問題につき輿論を喚起して貰ひ度き旨をのべ同時に今回の擧に對して贊助を乞ひ今夜青年會館にて開催される公開講演會に出席を願つて退出した。此中に衛生掛の今井氏は實に同情を以て奬勵された。同氏は夙に移民問題に注意されて、自分の手を經て彼等が健康診斷を受ける處からして彼等の狀態を親しく知つて居らるゝので、一度横濱女子青年會をも訪問された程此問題の熱心家である。親切に我等の取るべき方針をも注意されたのは感謝に堪えない。次に正金銀行藤平支店長を訪問したが折惡く不在であつた、同氏には桑港で面會して同地の女子青年會の寄附を安孫子よな子夫人と共に依頼に行つたことがあるから、今度此地で又寄附を願ふにも好都合と思ふたが一週間も留守と聞ては殘念である。其隣なる郵船會社にゆき山村支店長を訪問したが、伯爵の令息とかで、なかなか我等如き凡人には面會を賜はらぬらしいので、代人が一々取い次での會話であつた。用事と云ふのは今夜移民問題につきての公開演説會に御出席を願ひ此問題につき御奬勵していたゞき度いと至極明瞭單純なる願なのであつた。それから鼈甲店で有名な江

崎商店にゆき主人に會見して又事情を述べて協力を願つた。此商店は先年桑港大博覧會に出品して好評を得たのであるから、從つて渡米問題等には關係のある店である。市役所にお勸めの通譯官太田氏は此事業に同情を以つて居らるゝとの事故訪問しようとしたが留守で最後に長崎醫學專門學校にゆき教授國友先生に面會して有益なる談話をした、先生は熱心な禁酒家で、數年間米國ボルチャアーに遊學し近頃歸朝された進取的の教授である。今日の場合は日本婦人の位置を高むる必要のあることゝ女子教育の改善家庭の神聖、放逸なる生涯の將來に及ぼす惡弊害等を親切に述べて奬勵されたので、我等一行即ち奧、鐸木兩夫人と自分とは大喜悦で、百人の味方を得た心地で歸宅して見ると最早午後二時、空腹であつたのも尤と獨で首肯して食事を濟ます、其中に市内の米國人の茶話會がツルーマン氏の宅であるので其に出た、長崎は歐米人で永住するのが至極少數で皆で二十人足らずと聞いて驚いた、活水女學校が御隣なので八十以上の高齢なるラッセル女史も出席された、此席は懇談會で先づ自身が太平洋沿岸にゆきし動機から視察談を述べて午後六時に及んだので、急ぎ夕食につき七時からの集會に行つた、知事も、午後訪問した縣廳の御役員方も警務課長の外は皆出席された。來會者の三分の一强は青年男子である樣に見うけた、奧夫人が開會の主意を述べ、知事が十分斗り移民の狀態と我等のなさんとする事業に贊成の意を述べられし後、自分が講話をすることゝなつた。幸にも男子が多數であつたから、海外に於て同胞の醜態を演ずる其の罪は國内にある我等が風紀に對し無責任、無頓着であると訴へて、改善を促がした。一時間半斗お喋りをしたが皆靜聽して居て知事も終りまで止まつて貰へたのは恐縮であつた。其後に今井氏が長崎港より米國及び米領、布哇、マニラ等に渡航するものが年々增加することを短かく談られた。即ち當港を經て北米と、布哇マニラ等に渡航するものは明治四十三年に四百二十九人、四十四年

に千四百九十五人、今年は一月から九月までに二千九百人と云ふ激增である、此等の者が仕拂や何かで長崎に使ふ金額は年九萬圓と見てよい、尙又歸港るものが使ふ金額を合せると、非常な利益を市が穫得る事であるから、彼等に對して好意を持ち親切にせねばならぬが、其第一は風紀問題でなる、是非講習所の如きものを盛にする必要があると結びて九時半に閉會、恰度當日は東京の女子靑年會が「世界めぐり」の催がある日で今頃は一同が疲勞の中にも嘻々として一日の仕事の後片付中であらふとおもひつゝ別室にゆき十人ばかりで懇談をした。米國紐育のコロンビヤで幼稚園の事を研究された高森女史が二日以前に當市に到着されたので出席された。舊知舊友に出逢ふのは何處でも嬉しいものである。

長崎よりの歸途には久留米の石原龍子樣も御訪問したい、御病氣とかであるとは御同情に堪へない、鹿兒島が近ければ靑山秀子樣にも逢ひ度し、福岡の英和女學校の諸姉には是非御目にかゝらふ、下關では梅光女學校を訪れもし、廣島女學校は勿論立寄らふ、岡山の上代淑子先生や、高等女學校に奉職の山根妙子樣や今井さんにも、又一飛びで津山の陶山さんも驚かして見たい、それから其と友人を思ひ出で欽然として宿に歸る途中、見上ぐれば秋の夜の星が銀砂子を撒いた樣に、海には船燈のきら／＼とまたゝいて其美觀が希望の信號の如くに思はれた。

（廿日夜半記）

愛兒を失ひて

久留米　石原龍子

去る十四日三才の男兒をあの恐ろしい疫痢にて僅か二三日の患ひにて父に立ち歸らせ申候、元より何不足なき父の許に參り候事とは申乍ら情に於ては堪え難きもの有之候、彼の愛らしき容姿片言混りの話振り、何かと日頃の動作が眼前に浮び實にいひやうなき悲歎の思出と相成り申候、私共兩親にとりてこれ位重き十字架はなき樣に存ぜられ候、併し是れには確かに天父の深き御聖旨ある處と信じ申候、今後我家庭と天國とが非常に近く相成る事と存じ候、愛兒を思ふ毎に靈につけ神の國を偲び居り候いまは全く神に信賴いたし居り候

「これ神は其愛し給ふ子羊に對し一の誤謬なければなり」

我神にいや近づかん　吾いや近づかん
我負ふべき十字架耐へ難くも　尙吾は謳ひつゝ
我神にいや近づかん　吾いや近づかん

願はくば會員皆様の御家庭の御健康を祈りつゝ。

世界をめぐりて

はる子記

同行者數人と共に世界めぐりを企てし日は、ＹＷＣＡ晴れといふ程の好天氣にはあらざりしも、少くとも、秋の一日を郊外の散策に過ごさんとする人々の足を止めて、屋内の世界めぐりに向はしむるには、好適の秋日和なりき。會館の玄關を出發せしは一時を少し過し頃。先發者の後に續きて、爪先上りの道を行けば暫時にして着せしは、亞細亞州日本の國、右手には見るによき百花かぐはしき香をはなちて、先づ旅行者の心を喜ばしめ左手には食ふによきキャンディー愛らしき顏を並べて彼等を迎ふ。共に見逃し得ざる逸品なり。先づ日本國花、菊花を數本とキャンディー一籠（大枚二十錢を奮發して）を求めて行先の好伴侶となす。

大原女の優しき襲撃を輕くきゝ流し、江戸名物豆人形に目をさらして進めば、中國物產の店に至る。此所にも我等が一行の注意を惹くものなきにあらねど先を急げば、失禮ながら素通をなし、左に甲府名產水晶の店の謹ましやかなるを見て進む。行く〳〵中着せしは北海道はアイヌの國の一部落なり。彼等の手になりしと思はるゝ巧なる木製器具等あり。此所にて不思議に思はれしは、姉さまかぶり、金緣眼鏡のおかみさんの物賣れるなりき。アイヌ村も開けしものと一驚、其商品の種類多きには感服したり。かね〲噂に聞きしトラピスト製（？）のバタ一罐と、昆布とを求めて此店を辭す。

境の敷居を一つ越せばあらはれしは、朝鮮國の一

都市なり。愛らしき朝鮮人形の秩序正然と居列ぶ後には白衣紅顔の朝鮮少女の巧なる日本語にて客を呼べるあり、此所にも可成に其國の物産集められし樣なり、殊に我等一行の目を惹き足を止めしは、近頃東京市中にても大分子供らのお馴染となれる、朝鮮名物シヤラ〳〵飴なり。本場にて求むるを得しは興深き事なりき。次ぎに着せしは中華民國の一骨董店なり。珍らしき斯の國の物品、品よく陳列せらる皆美しき色彩、と巧なる手工のあらはれしもののみにて、殊に婦人の服裝の清國時代、中華民國時代各々異なれるを見ては、靜かにしてしかも進歩的なる斯の國の婦人の樣偲ばれて賴母しく、現時の婦人服の西洋婦人の服を折衷したるように見えしは、如何にも着心地よきようなりき。此店にて殊に珍らしく思はれしは厚き油紙の如きものにて作れる人形なり。「是は支那の活動寫眞で、人形の腕の下の棒を引張ると斯樣に手足を動かします、そして是を幕に寫すと色も此色彩の通りに寫ります。」と、一支那婦人の巧なる日本語の說明に一層心を惹かれ、是非一つをと、云ひ出しに、是は賣物にはあらず、との御答、一行の失望一方ならず、若し我等の中に一人の成金在りしならば數千金を投じても此珍品を手に入るゝものを！。

日本、朝鮮、支那と長途の旅行に稍々疲れをおぼへ、何所にかよき休息所もなきかと、見まはせし時も時、所も丁度、印度に到るに、是非とも超ゆべき峠の下に一軒の茶店にはあらで、しるこ屋のあるを見出しぬ。

テーブルに比して腰掛の低きは少しく居心地惡しかりしも、なほ一行の疲れを休むるには充分なりきやれ〳〵と腰を下すや、下さぬに早や、奇麗らしき器にて運ばれしは大好物、こしあんじるこなり。惜げなき甘さ、しかも中にはシラ玉のお團子が五つ、是にては損は行かずやと餘計な心配をなしつゝ甘黨の豪傑振りを發揮す。

一行の元氣全く恢復して、長く憧れし印度へと急

ぐ。峠を超へて行く中に雲を摩す、椰子にはあらで棕梠の大木の聳ゆるを見る、近づけば其下には可憐なる印度少女の物賣歩くあり、印度更紗も本場なれば美しき上乘のものあり。されどさすがは印度國、熱き事夥しくして、長く止る事を得ざりき。人波にもまれ〳〵てやうやく、逃れ出でぬ。

機もよし、歐洲行のベルの鳴れるを聞く、心地よげなる喫茶店を殘念ながら素通りして旅行者の群に續き道を下れば、一同は一つの大廣間に招し入れられしなり。是は餘興場にて、此所に我等は居ながらにして歐洲諸國の少女等の美しき歌をきゝ得る幸を得たり。少女等の歌は黒人はだしの上出來、殊に一米婦人の獨唱トイックンハムフエリーは當日の白眉なりき。ニグローさんの奏でし靜かなるバンジヨーの音は、訪れ來りし斯の棕梠の國を更に偲ばしめぬ

此日一早く賣り切れしは、キャンデイー、笹あめ朝鮮あめ、おしること聞く、以て旅行者(來會者)は婦人子供の多數なりしを知るべし。總數凡千三百人位なりしといふ。

終に、吾等の爲めに此の新しき企を試みられ、數時にして世界の風物にふれ、美しき音樂を聽くの機を與へられし女子青年會のいよ〳〵盛ならん事を祈る。

因に記す、

日本物産の賣店は二階應接間、支那朝鮮は其後方の讀書室、印度は三階、餘興場は體操室なり。

朝鮮、印度、歐洲諸國の少女はもとより、會員の巧なる假裝なり。

數字上の報告は次號にて掲載せらるべし。

渡米者の栞

河井道子

まさ「其樣な先生があると大助りで御座います、幾干御禮が入用でせう。」

夫人「何も入りません、金錢のために世話をするので

はないのです、米國の基督教女子青年會は、我等同胞のため此先生を招聘て親切に世話をして下さる樣に成つてゐます。

なほ『何だか私には妙に思へます。

夫人『何故？

なほ『だつて金も何も取らずに、私共に親切にすると云ふには何か目的があるでしようもの。

夫人『其では私が貴女達を斯う御世話するのも何か隱に計畫があるとお思ひですか。

三人『まさか勿體ない。

夫人『しかしおなほさんの御尋は尤のことです、慨歎い事ですが、日本では色々と廣告的に人々を親切にして何か一儲しようとする鬼々しい人間も澤山にありますから、不知人々を無暗矢鱈に信じ込んで、一身上の事を賴だりすると大變な事になりますから、注意るが第一です。

なほ『私は其點を思ふと、詰らぬ事を御問ひして濟みません。

夫人『詰らない事處ではありません、本當によく氣がつきましたと褒るのが至當です、成程よく考へてみると、女子青年會が皆樣を世話するには理由があります。

せい『へー然で御座いますか、基督者にでも無理にさせますのですか。

夫人『オホ……基督者には貴女方がいきなり成り度と申たとて普通の事ではなれませんし、又先方でも容易に許可はしませんから御安心なさい。

まき『餘り私共の愚なので、御呆れでしよう。

夫人『皆さんは正直で、本當によろしい、何でも知らぬ事は知つてゐる風をしないで尋がよいのです、尋くは一時の恥、尋ぬは一代の恥と申ますからね。それで日本の女子青年會でも、米國の女子青年會でも、基督教の主義で立つてゐますから、おせいさんの樣に思ふ方もありましようが此會では人種や、貴賤貧富を問ず、婦女子の世話をするのが目的です、「己の如く汝の隣人を愛すべし」と申す教を實行してゐる

會です、其ですから、此エリス先生を天使島に派遣したり、戸別訪問をしたりしますが、其目的はと問はれますなら、斯う答へましよう。

第一は日本女子が米國に來て、不用ない苦痛をしたり、輕蔑をかいたり、誘惑れたりしないで、眞個に幸福な生活をすること。

第二は日本と西洋との間柄を親善することです。

なほ『何て難有い事でしよう、だが私達の樣な者が如何ならうと、其が日本にも米國にも別に影響はしますまいが。

夫人『飛でもない事を被仰る、其麼考を持てゐては其こそ大變です、私共の樣に少し社會に識れた者も、勿論ですが、實際農業をしたり小店をしたり、西洋人に使はれる男女が一番に彼地の日本人問題となつてゐます、それですから若し皆さんが、新家庭をもつてから、勞働しようと、何をしようと、夫婦ともに正直に、忠實に働けば、其で日本人全體がよく思はれます若し一人が不正直で不性で金錢にばかり心が向く樣であると、日本人全體の名譽にかゝはりますから、決して勞働者だから什麼でもよいなどゝ思つてはなりません、貴女方で日本の國が善くも惡くも思はれます。

せい『マー其では日本に居る時より却つて氣をつけなくてはなりませんのですね。

夫人『實際です、兎角日本人は僞を吐くとよく西洋人が申ます、約束を守らないし、金錢や時間に掛引があるから、的にならないと申ます、是は勞働者と限らず、日本人全體に評れることですから、一人でも眞面目な正直な人が多く欲いのです。

まさ『奥樣、私共田舍者は何も出來ないのですが、僞は申さない積です。

夫人『どうぞ其精神を何日も忘れぬ樣に御願ひ致します。

せい『最う上陸間際になり色々と御尋ね申上ますが、私の良人になる人は、何でも英語が出來ぬと不可から、上陸したら、少し勉强せよと申して參りましたが何處かよい處が桑港に御座いますか。

夫人『日本婦人青年會があり、御宿泊も出來ますし英語も、料理も習へます。エリス女史は時々其處に御

泊りになります。日本の舍監があつて、汽車の送迎もしますし、案内もします。
なほ『一寸番地を英語で御かき下さい。
夫人『承知、若し失したらば、移民局でエリス先生なり、舍監なりに御尋なさい皆さんが御存知ですから。

Japanese Y. W. C. A.
1129 Gaugh St, San Francisco.
Telephone, Franklin 8673
Secretary, Miss Sarah Ellis

なほ『羅府市には御座いませんか。
夫人『御座います。

(Japanese Y. W. C.A.)
900 West 18 St Los Angeles
Secretary, Miss Helen Topping

せい『私は英語が書けませんから、本國へ手紙を出せないと思ひます。
夫人『出來ますとも、今からで宜しいから、日本即ち Japan と丈かく事を御稽古なさい、封筒には整然と日本で書く様にかいて Japan と丈英字でかいて五仙の郵便切手(米國)を貼て投出なさい、其で日本にゆきます、日本さへ行けば住所姓名が解ますから大丈夫です、手紙を出さないと國元で心配しますから屹度御出しなさい。
三人『何から何まで、御親切に、御禮の申上樣もありません。
夫人『什麼いたしまして、萬一何か意外い困る事が有りましたらば、御遠慮なく御報知下さい、私の名刺と其ほかに、番地をかいた封筒を三枚づゝ差上ますから、無事に移民局も通り、上陸も出來、御婚禮もすみ、住所も定りましたらば、御手紙を下さい。
三人『難有う御座います。
夫人『私は移民局まで御伴すると好都合ですが、紐育へ急いでゐますし、又ついてゐても別に役に立ちませんから、エリス樣に面會するか、手紙を出すかしてよく御依賴して置きますから、御安心なさい、餘り神經を立てないで、落付て返事をしたらば、其でよいのですよ、萬一病氣で上陸が許可されぬならば全快ときまで移民局の病院があり、又親切な西洋婦人が世話をして下さいますから、氣を揉まずに養生をして、英語でもエリス先生から習ふがよろしい、何でも常識が入用です。マー長話を致しました、御草臥でしよう、徐々上陸る仕度でもしませう。(終)

THE HOSPITAL PHARMACY.

GINZA. TOKYO.

TELEPHONE SHIMBASHI 2334.



◎歐文和文處方調劑
◎歐米有名賣藥各種
◎舶來化粧品各種
◎醫療器械各種
◎舶來滋養品各種

東京京橋區銀座尾張町一丁目一番地

銀座藥品部

（舊聖路加藥品部）

電話新橋二千三百三十四番

弊店は正確誠實迅速を旨とし凡て責任を以て販賣致し候間何卒御用被仰付度候

葡萄作りの話（續）

袖山愛子譯

「何だか氣違の國へ來た樣だね」とフオスチナは飛ぶが如くに走つて行く人の後姿を見て申しました。豫言者の弟子と云ふ弟子が皆此樣な氣違なのを見てフオスチナは少なからず落膽しました、此樣な氣違迄も弟子にして置く樣な人に何が王樣の爲めになる事が出來るだろう？　ヘブライ女も當惑したらしくフオスチナに向ひ熱心に

「氣を落さないで尋ねる人を探しあてる迄は御やめなさいますな。何か不時の災害が豫言者の身に降りかゝつて來たので、それで弟子達が氣違の樣になつて居て、彼の事を聞かれる事さへ忍ぶ事が出來ないのでせう。

フオスチナと其從者は城門を過ぎて狹い薄暗い町に入つて來ますと其處は又群集で雜鬧して居ます。この町を通過する事は不可能に見える程混雜して居て度々馬を止めなければなりません、兵士や從者が道を開け樣と努力してもそれは皆無爲でした。群衆は沸き立つた、怒濤の樣に押し寄せて來ます。

「ほんとうに、これと比べれば羅馬の町は平和の樂園だね」と驚いた老婦は申しました。とても馬でこの町を通る事は不可能と見て取つたサスピシヤスは

「これは馬で行くより御歩行になつた方が宜しかろうと存じます。大して御疲勞でもなければ執政官の御館まで御歩行になつた方が宜しう御座います。此處からはまだ可なり道里が御座いますが、然し馬で行つたのでは到底今日中に達する事は六ケ敷う御座いませう。」

其言葉に從つてフオスチナは馬から下りて奴隸の

一人に渡し市街を歩行はじめました。サスピシャスは大通り〳〵と撰びながら
「此通を參りますれば程なく目的の處へ行きつきます。」
フオスチナ一行が執政官の館から正門とコルゴダに通づる通りに出ました丁度其時にこれから十字架にかけられに行く途中であるといふ四人に出逢ひました、四人の先には刑の執行を見物仕様として荒くれた數名の若者が走つて行きました。彼等は手を振つて意氣揚々と有頂天になつて奇な聲を發しながら小山をかけ上がつて行きます。偶にしか見られない珍らしいものを見るといふ事が彼等の好奇心をそゝるのでした。その後に續いて町の有力者とも先輩とも見える美服を着飾つた人が行き、それからその後に女の群が行きます。多くはみな涙を流して泣いて居ります。多數の貧民や不具者はよろめきながら耳をつんざく樣ふ金切聲で
「オヽ神樣よ、助け給へ特別の御加護を垂れて彼を救ひ給へ、早く救ひ人を遣はして彼を救ひ給へ。」
其内に二三の逞しい騎馬にまたがつた、羅馬の兵士がやつて來て警護の任に當り、四人を救ふとしても、とても近付く事も出來ません。直後に續いて四人を引立てながら死刑執行人が來ます、見れば四人は重い十字架が背負されて居て、其十字架はかよわい身體には餘り重すぎるので殆んど腰は二重になり、喘ぎ〳〵來ますので其顏はどんな顏だか傍觀者にはよく見えません。フオスチナは小路の傍に立つて罪人の氣の毒な有樣を目送しました。驚いた事には彼は紫の衣を着、棘の冠を被つて居ります。
「此人は一體誰ですか？」と彼女は尋ねました。
傍に見物して居た一人が
「此人は自分が王樣にならうした奴です。」
「その樣な事の爲めに死刑に逢ふといふのですか。」
とフオスチナは悲しげに申しました。四人は重荷に絶えかねて喘ぎ〳〵歩んで來ます、執行人は罪人の腰に結び付けた綱をぐい〳〵引張つて早く歩かせ樣

とします、あまり強く網を引いた爲めにとう〳〵罪人は地上に倒れて十字架の下敷となりました。

群集は益々猛り合ひ羅馬の兵士は必死になつて制御しますが中々それ位では追付きません。囚人が十字架の下に倒れました時に馳けて行き助け起さうとした婦人の群を兵士は拔刀して遮りました。執行人は彼れを立たせ樣として顏といはず、身體といはず強く平手や鞭で打擲するのですが十字架の重みに堪へかねて如何ともする事も出來ません。終に二人の男が來て十字架を取除けてやりました。

囚人は顏を上げました。其頰は鞭で打たれた跡が紫色に腫れ上がり、額は荊棘の冠に傷けられて鮮血が流れて居ます。頭髮は茫々と亂れて汗と血に塗れて居ます、堅く結んだ唇はわな〳〵とふるえて、苦しさを耐え忍んで居る樣に見えます。ぢつとすえた眼には涙が一杯溢れて苦痛と疲勞につぶれたかと思はれる程です。

「まあ何と悲慘な！　殘酷な有樣！　どうしたといふのです。」フオスチナは餘りの氣の毒な有樣に胸も張り裂けるばかりになつて眼に一杯涙を湛へながら我を忘れて彼に近寄りました。彼女も他の女と同樣に馳せ寄つて彼を救ひ度いと思つたのでした。

倒れて居た囚人は彼女が傍に來たのを見て、彼女の許に這ひ寄りました。この多數の敵仇の迫害の中にもこの老女が助に來るを待つて居たのか、丁度子供が母親の膝に抱き付く樣に彼女の膝にすがり付きました。

老女は自分の膝の上に彼を横たへて勞はつてやりました。涙は止度なく彼女の頰に傳ひます。彼女の心は助を求められた事で非常に嬉しく感じたのでした彼女は靜かに彼の頸を抱いて、母親がする樣に彼女の純白な美しいハンカチーフで涙と血を拭つてやりました。

やがて十字架の用意を終つた死刑執行人はやつて來て囚人をフオスチナの手から無理やりに引張つて行きました。手間取つたといふので無暗と追ひ立て

て行きます。四人は呻き苦しみながらも何等抵抗もせず、爲すが儘にまかせて行きます。

フオスチナは自分の手から非道に引放された彼を生みの子を捥ぎ取られた樣に感じ一生懸命に、「其人を連れて行つてはいけません、殺してはいけません。死なしてはなりません」と叫びました。

彼女は彼が引立てられて行く其憐れな後姿を身も世もない程悲しくながめました。追ひ驅けて取戻さうと決心して驅け出ましたが、足が弱つて居ますのに疲勞の爲め眩暈がして、危く卒倒する處でしたがサスビシヤスが抱き支へましたので助かりました。

彼女は最寄の小店に擔ぎ込まれ、其店の主人の親切で片隅に落ち付く迄休ましてもらふ事に致しました。疲勞と悲痛に破れた心のフオスチナはサスビシヤスと小店の主人の看護の中に昏々として深き眠りに陥りました。

彙報

本部報告

大正六年十月十三日全日を聖別して本部東京及び横濱女子青年會の委員、職員聯合の修養會を神田會館にて開催せり。

午前十時井深夫人の司會を以て開會す。廣岡淺子夫人は我等信徒一同尙聖靈の力に浴す可き事と御名の爲に尙々活動すべき事につき熱烈なる奬勵ありたり協議として、如何にせば女子青年會全體に祈禱の精神を養ふべきか。如何にして與ふる精神を養ふべきか。如何にして高潔なる思想(貞操問題に關し)を養ふべきか。以上三項目の下に諸氏の有益なる意見ありたり。昔の女學生と異り現今の女學生は經濟上遙に豊なれば、己れの裝飾品には金錢を惜まざるも他の爲に献金するが如き精神は、前述に比して減少せし如し、と一委員は語らる。青年會の各部に於ける事業、例へば寄る處なき婦人の身上、或は感心なる學生、或は逆境にある婦人等の事につき個人的に之

を知る機會を他に與へなば、より多き同情の青年會に集るならんとの說もありたり、男女問題に對しては基督敎信徒が(愛)と云ふ事を濫用し、兄弟姉妹との名の下に不思議なる態度よりして世人の酷評を受け、又自身等も誤るに至る事多ければ此點に於て注意すべきなりとの意見もありたり。祈禱については一同其缺乏を感じ居る際故時々は委員會員等の祈禱會を催し、又祈るべき項目を記し會員友人等に配付したり、或は本會館の一室を祈禱の室に當んなど實際的の協議ありて、時間の足らざるを怨むの感ありたり。續きて救世軍の山室大佐はとりなしの祈、仲保者の祈禱と云ふ題の下に、至極適切なる奬勵ありたり(本文參照)直ちに、山田千代子氏の司會にて祈禱會を開き、至極眞面目にして有益なる午前を送りたり。十二時半三階の二室に會食し午後二時より中央委員會にうつる。

諸種の報告中特別なるものは移民部の新計畫と雜誌の報告等なり。即ち今回九州長崎に於て移民問題研究且講習所設立の爲、本部幹事の出張を請求し來れり。尙神戶よりは六十一名の連名にて、支部の同市に設立されんことを申込來れり、こは同市に橫濱と同じく、渡米婦人の講習所を設置すべき時期の到來せしを明かに示すものなり。本部幹事は協議の爲神戶に赴く事に可決す。雜誌は收入一千五百三十九圓三十錢に對し、支出一千四百九十三圓七十錢、殘金四十五圓五十錢也、こは本誌非常なる發展を示すものにして、この內より繰越負債二百餘圓をも皆濟せしことなれば、創立以來雜誌經濟の記錄を作りしものなり、これに對し各地に散在せる同情者に感謝せざる可からず。來年度は尙一層の奮勵を期待す。修養會費用の殘額從來のものを合せ、四百五十五圓四十一錢は別會計とし將來修養會會場建築費に當てん爲に、之を積金となすことを可決す。ミセス、フイッシャーは幹事の移動を述べ、ミス、エマソンの婚約を發評されたり、而し尙向一年間ミス、エマソンは大阪支部創立の爲に、本會幹事として働く事にな

り居れば、至急同氏の代りを求むる必要なきを嬉ぶ尚同氏はミス、ハードと共に九月中旬大阪に赴任し適當なる住宅を得んが爲時日を費せり、幸にして東區ウキルミナ女學校附近に、一軒の貸家あれども賣家にて何時立退を命ぜらるゝやも斗られずとの事なり。昨年母堂病氣にて歸米されしミス、ベーカーは近々再び日本に渡來さるゝの吉報を得たり。從來支部にては音樂會其他を擧行し資金を作りし事もあれど、本部にては未一回も斯る催しなきを以て、來る十一月下旬本部主催にて音樂會を催し、以て移民事業の資金に當てんことを決議す。中央委員全部この責任を負ふ事に可決す。

女子青年會全體に働き人少數なるを切に感ずるを以て、來春あたりより幹事養成所の如きものを起し見習生を募集するの可否等を討議す、委員は此件につき研究して次回に又充分なる意見の交換ある事に決したり、新來幹事ミス、クロホード、ミス、ニクソン、ミス、オールチン等の紹介ありて、午後五時閉會す。當日午前午後に出席せし人名左の如し。

井深花子、井上れつ子、伊藤せい子、羽仁とも子、星野愛子、三谷民子、長尾なみ子、松岡鎭枝子、二宮その子、志立たき子、廣岡淺子、山田千代子、川戸環子、加藤高子、河井道子、吉田いと子、中西娜婀子、淺井治子、坂よし子、渡邊百合子、有田玉子、門倉藤子大西絹子、佐藤正子、ミセス、フイッシャー、ミス、ウエスト、ミセスクレメント、ミセス、新渡戸、ミセス、マラー、ミス、マクドナルド、ミス、ベーチ、ミス、カフコン、ミス、マシコー、ミス、ガンター他に七人當日左の人々より缺席の通知來る。

室原富子、小室美智子、湯淺いと子、(以上横濱)
岩澤時子、辻松子、長谷川喜多子、(以上東京)
佐伯小糸子(京都)ミス、トリストラム、(大阪)

横濱青年會

九月二十九日(土曜日)はこの度當青年會幹事として赴任せられました、ミスグリーン歡迎會を兼ね、此の秋初めての講演會を開きました。雨の止み間なく降つた午後で御座いましたけれども、五十名

以上の會員が集まりまして、最近米國からお歸りになりました、ミセス、バージエス及びフエリス女學校の林先生から有益なお話を伺ひました。米國の御婦人方が現今の戰時に於て如何に覺醒して活動して居らるゝかと云ふ事を伺ひ、又私共日本婦人が米國婦人に對して如何に自己中心であるか、又私共の考が如何に狹いかと云ふ事を深く考へさせられました。それに引續いて河井先生の熱心なるお勸めがありました。それは私共も此際心を廣く持つて現今の氣の毒なる狀態にある諸國に對して、充分の同情を拂ひ應分の助力を與へ度いものであると云ふ事は今直ちに私共の成し得る事を實行する事で御座いました。其一つは露西亞の小兒等の爲に衣類を送る事。今一つは佛蘭西で破壞された町村の小兒等を救助する事などをお勸め下さいました。會衆一同は此の內の何れかを實行する約束を致しました。或有志の申出によりまして即座に佛國の小兒を二人一年間發育する丈の寄附を得ました。是れは毎月拾貳圓の金を送ると云ふ事を意味するので御座います。（此の爲めに御寄附御希望の方は横濱女子青年會へ御申込下さいませ）又露國兒童の爲めにはフエリス女學校の青年會でも既に袖無しを作つて送る事になつて居りますので、露西亞を助け度いお方は同じ方法を取らるゝ事に約束が出來ました。此の日はミス、オールチンの獨唱もありお話の後茶菓を頂き乍らお互に親睦する事も出來ましたので、有益に且樂しい半日を過ごす事が出來ました。其他今秋の働きの主なものを申上げますと、此の春以來計畫致して居りましたバザーの準備で御座います。各學校青年會にも助けて頂く事になつて居りましたので廿二日の午後その役員方に集つて頂きまして委員達と色々の打合せを致しました。そして有志の者四五人は毎夜の如く遲く迄會館に集まつて、出品の製作に忙がしう御座いました又各自の家庭でもそれぐ〱思をこらして十七日の爲めに働きました。さて當日は曇天にも拘らず午前中既に二百人を超え夜は八時〆切迄には一千人を超え

ました程の盛會で御座いました。會員及び各學校の役員方の目醒しい御働き振りには感謝の他は御座いません。當日の模樣や其結果は未だ詳細に分つて居りませんから、此の次の報告に申上げる事に致します。

毎週日曜日日曜學校午後一時より二時迄。

教師　吉田慰得子、成田千代子

教材　出埃及記中のモーセに就いて

現在出席生徒平均二十五名、籍を置く者五十五名

學科別にすれば尋常一年より高等一年まで。

昨年日曜學校開始以來引續き出席する生徒が多い爲追々に其等の兒童の家庭にまで宗教心を起させる樣になりました事は感謝の至りで御座います。午後三時より六時迄有志の者の集會を開く事に決しました

九月二十三日　第一回　司會　成田千代　出席者は十七名。此の日丁度米國人で印度に再渡せらるゝ途路當青年會の外人寄宿舍にお泊りになりましたミスロングと云ふお方より印度に於ける青年子女の教育宗教、習慣及び彼等一般の生活狀態に就きまして有益に且興味あるお話を承りました。讃美歌、聖書朗讀の後東洋の爲特に印度に於ける基督教の働き及び憐むべき人々の爲皆心を合せて熱き祈を致しました茶菓の後ミスグリーンとミスロングとの印度の幼稚園生徒の遊戯を見て遠い彼の國の有樣を目のあたり見る樣な氣が致しました。ミスフオール、ミスグリンの獨唱を聞きましてから各自も好きな讃美歌數番を唱ひまして自由に散會致しました。今後毎日曜日特志の方の講話を願ふ事になつて居りますから出來る丈廣く皆樣のお出を歡迎して居ります。

九月以來各組々は左の通りに致して居ります。

一英語の組　イ、初歩の組　ロ、小供の組
　ハ、文法及び會話の組

二體操の組　内外婦人の爲

三西洋料理の組　三組

四音樂の組　イ、唱歌の組(二組)
　ロ、ピアノ生徒七名

横濱フェリス女學校青年會

秋更けて靈魂の收獲時としては免すべからざる好時節となりぬ。此處に於て當青年會仕事部にては、去りぬる日より露西亞に於ける窮民救濟の一助にもと大活動を始めぬ、先づ生徒有志の家庭より不用なる羅紗見本布の寄附を仰ぎ青年會小集會の折毎に本科二年以上の生徒をして其の布をはぎ合さしめつゝあり、また二年以下の生徒には雜巾其他小さき者相應の物をなさしむ。哀むべき同胞者の爲め嬉び勇みて活動する樣傍の見る目も嬉し、一針毎にこもる赤誠の暖みに加へて厚き羅紗に裏迄つき居る事とて見たる處も宜しく寒さを凌ぐには最も善きに適ひたるものと思はる。

毎週金曜日の夜は寄宿生一同或は毛布製造に或は戰地に送るべき繃帶巻に或は編物等寸暇も無駄にせずそれ〴〵青年會の爲めに働きつゝあり。

大正六年十月十一日第二木曜日の午後三時間目に正會員准會員一同講堂に會し青年會を開く、此集會の要は佐藤きく姉の仙臺に於ける夏期修養會の報告並に當青年會の事務報告なりき。姉は修養會に就きての所感及び星野先生の講話になれる「品性と宗教」と云ふ題につきてのお話をせらる、一同得る所多かりき事務報告としては會計、賣物、仕事、日曜學校等の模樣なりき會計賣物、日曜學校につきては別段變りなかりしが、仕事部の目下の活動は目ざましき計にて後に述ぶべし。來る十七日横濱女子青年會館內にて開かるべきバザーへ寄附の爲、在校生徒自ら刺したる雜巾一枚づゝの寄附を仰ぎつゝあり、既に百數十枚に達しぬ、又薄き羅紗布にては手提げ袋種々作りぬ、これ皆バザー行なり。各報告終りし後准會員を去らしめ正會員のみ尙殘りて二三の事柄に就て

相談なしたり。

一、當青年會標語を選定す。一同協議の結果「惟愛を以て互に事ふることを爲す」（ガラテヤ書五章十三）と云ふ句を以てする事となる近き中額となして青年會室にかゝぐる手筈なり。

二、近く開かるゝ萬國日曜學校大會に當青年會日曜學校より金壹圓寄附なす事に決定す。

三、主に記錄を司る委員として佐藤きく姉を推選す

以上決議なして一同散じぬ時に午後四時十五分前。

●●●●●●●●●●●**信州上田丸堀梅花幼稚園女子靑年會**　拜啓今度東京地方にて大なる災害之有候てまことにお氣の毒の至りに御座候つきては私共青年會よりほんの僅ばかりの金子を御寄附申したく御座候へども若し青年會本部にて何とか御働きの御座候へば其方へお廻し下され度存じ居り候而し左樣の手續無之候はゞ此方にてまた何とか方法を講ずべく候間何卒御一報御返事下され度御願ひ申し上げ候

●●●●●●●**大阪梅花高等女學校**　愈秋が參りましたが本部の諸先生方には御變り御座いませんか御伺ひ申します去る月の夏期修養會の節は色々私共をお導き下さいまして誠に有難う御座います。私は生涯忘れる事の出來ないあの修養會に於て最初にお近づきになり深く感謝致して居りますさて私共の青年會の事で御座いますが神戸で承つて初めて本部に加はる方法がわかりましたので早速去年八月役員が集つて本部から送つて頂いた規則書によつて作つたので御座いましたので其れをお送りしやうと存じましたが、大分只今の會の有樣と相違して居りますからもう一度改正致し度いと存じます、それで大變恐れ入りますが本部の規則書を成るべく早く御送附下さいませお願ひ致します。

●●●●●●●●●**橫濱共立女子靑年會**　去る七月には神戸修養會へ出席するを得て僅か一週間では御座いましたけれ共强い或ものを心深くきざみ付けられて來學期と新學期とに多大の希望を抱き歸校致しました見渡す限り力に滿ちた此の秋私共の第一に耳に致した事は戰塵

の内に包まれ居る佛國の幼い方々の御様子で御座いました、サンタクロースともなつて訪問したらと云ふ議が忽ち決せられ會員各自の努力と學校よりのお助けとにより九月廿八日次の樣な品物を送り出す事が出來ました。

タオル二、慰問袋百四十四、ランナース（テーブルの上にかける細長い布）六、赤兒毛布二十三、靴下四足、手遊三、ハンカチーフ百、手拭七、石鹸五十二、齒揚子五十、齒磨粉五袋、雜品八、スリパー三足、レターペーパー十二帖、封筒二百、編針百本、着物のブラシ三、

十月十七日には横濱市女子青年會館に於て開かるゝバザーにつき何か賣品をとの事でジャムと鹽南京豆とを出す事に致しました南京豆を入れる袋は成可く人目を惹く樣に紙ナプキンに生徒が色々な色彩をほどこしました。上級生が賣子となつて六十箇のジャムと二百袋の南京豆を並べました處が午後二時と云ふに最早賣切れと云ふ樣な次第純益として金貳拾圓程を得られました事を會員一同深く感謝しつゝ來らんとする十一月の感謝祭の準備をはじめました次第で御座います。當會の愈々榮へます樣に會員一同祈り居る事で御座います。

ともがき

太田泰子

秋は次第に深くなりゆきます凛とした氣は精神の覺醒をうながす樣に思はれます先日は青年會修養會號御送與下さいまして有難う存じ上げます久々にて拜讀致しまして勵まされた樣の感じが致しました、又皆樣の御消息伺ひ又修養會が祈つて居りました通り盛大に催されまた多くの種子の蒔かれました事も伺ひうれしく思ひました、就ては私事も前と同じ御會の一員として戴き度存じます何卒御會の爲特に神樣にお願ひ申上ぐる事などもゝ御座いましたこの田舍にても神樣の御座に御願のとゞくためにお祈りに加へさせて頂き度う御座います先生方の御健康を祈りつゝ。

上野俊子

山の中の秋は靜かで御座います頭重くみのる稻はたかぶり易き私に謙遜なれと鳴くの虫音も木々に傳ふ小鳥も今日一日の職を祝すが如く眞に尊い教が滿みて居るこの秋こそ與へられし時で御座いませう、充實した一日が送り得られましたならばと御力を仰ぎ祈るので

御座います。青年界澤山お惠み下さいまして深くお禮申上げます、十名の姉妹がどんなに喜ばれしか「この書が何か慰となり導の基となる樣に」と祈りつゝ送りました拜見致しましたパレアナに習つてあゝした生活を求めて居ります米國婦人女學生青年會の御活動を伺ひ眞に醒めて御國の爲めに働かずばそして暇々を利用して會の爲め教會の爲め働き少しなりとも補助に努めずば與へられし限りない御惠に勿體ないとつく〲〵感じて居ります、この頃豐かな田舍の秋の氣分を通して樂しく暮して居りながら在京の友からお便りある度に東京が慕しくなります信仰にも智的にもなるの刺戟なく空な手なのべて與へんとして居る樣な氣がして自己の貧弱な精神的食物を悲しまずに居られません、祈りつゝつとめて讀書し度と思ひます漸く注文したカードが來まして小供等のよろこび顔見んと樂しみ明日の日曜は日直で終日學校で送るので御座います、日曜日の朝七時半に教會に行き八時に小供等を迎へて一時間樂しく幼な子の心になつて過すことの出來るのは私の唯一の力であり慰めてあります。

仙臺の友

女子青年會からお送り下さいました聖書と讃美歌うれしく有難く頂戴致します、私は丁度三年ばかり前は仙臺の女學校で横澤先生のお教へを受けて居りました、私は山形縣の田舍町に生れ十四の時仙臺に出ましたが女學校二年の時迄宗教と云ふものを全く知りませんでした其年に私の親友が尚絅女學校に轉校致しましたので其後度々寄宿舍に友を訪づれはじめてキリスト教信者を知る事が出來ました第一に感じましたのは友情の濃かなことでございました、幼なくして父母に別れました私には何よりうれしう氣のしづむ時など彼れの學校を訪づれるのが常でございました、寄宿舍の方々は寄宿舍の客として聖書を讀み讃美歌を唱ひ或は英語教科書を讀んで下さる事も御座いました、私は一度より二度と天國の樣な暖かい平和の氣のみなぎつた彼の校を訪づるゝにつけても自分は宗教をもたないと寄る邊ない孤獨の悲哀を感ぜずには居られませんでした、そして者信の方を考へて見ますと横澤先生と云ひ私の友といひ暖かい情をもつて人をひく力をもつて居られました、かく迄暖か味のある人にするキリスト教を是非信じ度いそして神樣によりすがつて世を渡り度いと切に思ひました、他の友に私はどうすればキリスト教と云ふ宗教に就いて知る事が出來るでせうと尋ねました、友は聖書をお讀みなさいと教へて與れましたが私には聖書を買ふ錢はありませんでした、横澤先生に頂きましたキリスト教講話やら他の人に頂きましたキリスト教の本を讀んで時の來るのを待つより仕方が御座いませんでした此の頃は學校も出まして家にばかり居りますので望みない前途をのぞみ意味なき生活を悲觀せずに居られません、先日横澤先生に現在の恥かしい心理狀態を申し上げて自分にはどうしてもこんな生活を續けて行く事が出來ませんからどうかして意義ある生活を送り度いと申上げました處が、先生は宗教を信じなさいと優しく御手紙をかいて頂き青年會にお願ひして聖書を送つて頂くから質問のあつた時はお尋ねなさいと申して下さいました、私は聖書を頂いてどんなに喜んだでせう又先生を御紹介頂いてどんなに心強く思つたでせう。

在米　大呑ひさ子

此夏中に樂しかつた事の中の第一は私がなつかしく存じます御方にお目にかゝつた事、八月中頃思ひ掛けぬミセステイラー（先年今

嬢と共に日本を訪問されし方）から御招狀を頂き夢かと驚きました上り度いのは山々乍ら丁度其時は他に御邪魔申上げる約束をしてありましたので致し方なくお斷り申上ました處ミスレーガンも野村樣もおいで故たつてとの事にて友人も行く樣にと云ひ私の旅行劵の事など心配下され到頭一週間程ポートヒユーロンに參りました、此處は日本領事からの證明で無事に參る事が出來ました。ステーシヨンでミステイラー、ミスレーガンにお目にかゝりました時の嬉しさ物も言ひ得ませんでした、ミセステイラーのカテーヂはステーシヨンから五哩程行きし湖畔で誠に美しい處其處迄昔話りの餘念なく參りましたなつかしい話は仲々つきませんであれも申上ればよかつたと歸つてから氣の附く事が澤山御座います野村樣からは色々日本のお話を承り二人とも饒舌り續けました、夏中よく存じ上げぬ御宅に上りました時には窮屈の思も致しましたが此處では全く家に居る樣ないゝ心地が致しまして、皆樣の御親切に甘えました學校に參りました時は出しませんでした、私の大笑をして度々皆樣から笑はれましたミスレーガンと野村樣は私より一日早く十一日に紐育へ御出立になり私は十二日に學校へ一人で歸りました、レーガン樣は御病後とは申し乍ら私の目では一年前にお目にかゝりました時より御血色もよくお肥りの樣に存じ上ました、ミスペーカーには御目にかゝる折が御座いませんで殘念でした、ミスペーヂは何時おいで遊ばしますかミスアレン（東洋英和の先生なる）には其內にお目にかゝれる事と樂しんで居ります、廣瀨樣（フエリス出身）が小池樣となられ當地にお家をお持ち遊ばして先日はからずお目にかゝりました、又堀尾禮子樣が古賀夫人となられ、セントリオールの近くにおいで遊ばします由御面會を樂しみに致して居ります、昨日は久し振りに深井樣に伺ひ日本の御馳走を頂きした私は澤山日本の家庭が當地に御座いますので少しも日本食に飢えません。

太平洋上　井上菊惠

船解纜の鐘の響に偖ては御來駕と承り及びしも今ははや叶はぬ御對面かと口惜しう上る甲板上より計らずも彼方の岸に立たせ給ふ河井先生の御姿御健やかに渡らせ給ふ輝ける御顔拜しまゐらせしときの嬉しさあはれ赤兒の身なりせば躍る感謝の念も心行く迄叫びても得らる可きに迫り來る感恩の情いかにしてとゞけまゐらせん、さてこそ主によりて緊張せる小妹の心の響も御許に聞え上げまゐらする術ぞありけると打ちかざし給ふ師の君の扇も白く消え行く迄み別れ惜しみまゐらせしが、其後盡きぬ感謝の船出の幸に身も靈魂もいと健かにはや兩三日を出ずして彼方の岸に到るべく候まゝ御喜び下され度候げに拙劣人に過ぎたる此の身にありながら去りにし過去の御恵を偲べばいとゞ忝く重き責任と無育に盈きたる喜びの程こそ云ひ出でんに何の術も無之只々御賢察下され度候同室に日本婦人三名これあり誰樣も非常に快活の方々にて小妹を子供の樣に致し吳れ候より折には茶目君の本性を現はし申候程にて誠に居心地宜しく御蔭樣にて乘船後既に二回の日本食に預り申候靜かなる洋上の夕暮獨り沈默の語るを聞けば皆樣方の御親切の程思ひ迫りて忝くはては弱き腕貧しき血潮迄も遉がに躍り立ちて太洋の波聲も倚高きが如く感ずるもをかしくいはゞ戰鬪開始打ち跳ぶる兵士の樣にて空想の世界より落さるゝ如き現の身にかへりて身の拙さに又もをかしく獨り自らを笑ひ申候二十日夜十一時頃當方に安着御休神遊ばされ度候新世界に跡を印して生後僅かに數月の赤兒萬づは御想像に託して何れ學校の

後にゆる〳〵申上ぐ可く候。

ロサンゼル市　大谷ろく子

當地は恰度今が修養の最もよき時に候へば神の御惠みを感謝致し居り候幸病氣も少しのあと戻りも致さず丸々と肥り行くばかり元氣も幾倍致し自分には最早何の故障もなき様に存じ働きを初むべく田舎より歸り候然るに醫者は今が最も惜しき時で折角これ迄致候ものを再び惡くする事は如何にも殘念なれば思切つて少くとも半年或は一ヶ年を自由に責任なくして保養する様にと申され候につき只今は米人のすゝめに良き家庭に入り身に合ふ働を致し、いゝ間の時間には讀書をしたり體を休めたり致し居候過日は私の居る田舎に大なる山火事ありて私共危くも死をまぬかれ申候日中は百十度内外の暑に攻められ夜は大火に攻められ然かも三日も一睡も致さず隨分疲れ申候も幸ひ身體に別段の事も候はず然かも神の御存在を深く知り此世の物質の如何に脆くして最後の最も尊きものは神共ものである事を實際に於て敎へられ申候然して尚一層深く同胞間に眞の人生の意義を知らせたく切望致す念を深くせられ申候私は病のため失はるべき命を救はれ今又此大火の中より救はれて此生涯を何とかして神の御事業の一端を致さんがため用ゐねばならんとの覺悟をいよ〳〵强くせられ申候自分の力弱きを打忘れ神の御力に頼つて萬事を致すべく希望致し居候、何卒私の爲にも御祈り下され度候

伊勢　井戸本小夏

去る日曜日に子供が五六人遊びに參りましたので子供達と共に讃美歌を歌ひ一寸短い話をして祈りをして別れました一人でも子供が來ますと私は何かあるものを與へずに返へす事は物足らぬ氣が致します一言でも何か神様の事をきかせますと云ふ事の出來ない程嬉しいのです彼等に面白く飽かぬ様にする良法は何てあらうかと彼等の姿が見えると苦心をいたしますが不思議にも神は其折々に掛き私に敎へ給ふ事を喜んで凡てを感謝して居ります、病氣も追々全快になりましよう

消息

○河井幹事　長崎市の信徒婦人間に於て渡米婦人の講習會の如きものを開始せしが良成績なるを以て今後之を廣く世人に紹介し職業を擴張せしむる爲中央委員會は本部幹事を長崎市に派遣する事を決したり依て幹事は二十日より二十五日迄長崎市に働き其後は京阪地方に於て青年會の爲に働くの豫定なり。

○佐藤正子　本誌編輯の輔佐として本月より本部に執務尙神川愛子は辭職されしも其餘暇を本會の爲に捧げて間接に援助せらる。

○外山信子　(舊松宮)結婚後芝區白金猿町六一に住居。

○芝田千年子　(舊井上)結婚後麹町上六番町四一住居。

○鹽見縫子　廣島女學校出身の同氏は永く倫敦に滯在紐育コロンビヤ大學にて幼稚園を研究し十月歸朝され數日間東京に滯在今後廣島女學校幼稚園の主任となる。

○上代たつ子　女子大學卒業後米國ブラウンカレヂに留學され今年卒業にて當秋歸朝女子大學に敎鞭をとる。

○林貞子　一ヶ年間の休暇を米國に送られ有益なる經驗を經て今回歸朝され以前の通り横濱フェリス女學校にて敎鞭をとる。

○ミセスバーゼエス　二年間米國にて精養され九月横濱なる兩親を訪問され又北京に歸らる横濱滯在中同市女子青年會にて會員一同に有益なる講話ありき。

○河合牧師　米國羅府にて永年日本人間に働かるゝ同氏は今回觀光團長として歸朝され本會を訪問され同氏より羅府女子青年會の近狀をきゝ一同感謝す。

○松澤幹事　布哇ホノルル市の日本男子青年會幹事の同氏は本會を訪問され市内諸新聞婦人記者の懇談會中なりしを以て同氏より布哇の狀況を聞きて大に得る所ありたり。

○岸本夫人　布哇女子青年會の日本人部なる移民婦人間の間に係員として働かるゝ由。

○大森端子（舊小篠）結婚後旅行中なりしが近日琉球に居住さるゝ由。

○湯田キミノ子　但馬國豐岡高等女學校に赴任。

○青山ヒデ子　鹿兒島市武町一六一に住居。

○本部へ寄附金領收

金　貳　圓　也　ワーレン

金　五　圓　也　女子英學塾

○會友會費領收

金七拾五錢也

丸茂　よし　米澤なつき　齋間ますえ　百瀬　しづ

（大正六ノ十一—七ノ四）

金　壹　圓　也　清水　種子　竹中　久（一個年分）

金壹圓五拾錢也　鶴見　縫子（大正六ノ十一—七ノ十）

金　貳　圓　也　ヒンセント（大正六ノ七—七ノ六）

○雜誌代領收

金　八　拾　錢　也

小堀　よし　渡邊　ふみ（大正六ノ十一—七ノ十）

金貳圓八錢也　遺愛女學校

金拾貳圓四拾錢也　女子英學塾

電話と振替

東京市神田區北神保町十四番地

日本基督教女子青年會本部

電話本局五九八番

振替東京貳參七貳參番

「女子青年界」定價及廣告料

定價郵稅	内地	海外
一部	金八錢	金拾壹錢
一年前金	金八拾錢	金壹圓貳拾錢

廣告料	一回揭載
一行	金參拾錢
四分一頁	金二圓
半頁	三圓五拾錢
全頁	金六圓

年極又は回數により割引有

大正六年十月廿八日印刷納本
大正六年十一月一日發行
發行所　神田區北神保町十四番地　日本基督教女子青年會
發行兼編輯人　神田區北神保町十四番地　河井道子
印刷人　芝區櫻田和泉町七番地　前川吉次郎
印刷所　芝區櫻田和泉町七番地　三威舍

Tokyo Association.

The month of October was a busy one. Aside from regular activities the following meetings took place in the association building: A meeting for women newspaper reporters; a reunion of Japanese people who had lived in Hawaii; a wedding; two luncheons served to members of the Continuation Committee; an all day conference and committee meeting held by the National Committee; the regular monthly meeting of the Tokyo Women's Club; and the Association bazaar.

A Carnival of Nations was held on October 20th. In spite of the rain fifteen hundred people attended, most of these being students.

The association is collecting money and clothing for the benefit of the sufferers from the recent storm. Donations of either kind will be gratefully received. Miss Kaufman and several girls representing the association dormitories and classes visited Fukagawa recently. Mrs. Hayashi, the travellers' aid matron, has been appointed on a relief committee by the Tokyo-fu Office. She is spending several days a week investigating conditions in that district.

During the recent storm the roof of the Kanda building was injured to the extent of Yen 300; about forty windows were broken. The Andozaka Dormitory also suffered some damage.

At the monthly Sunday afternoon service Mrs. Shiomi, a graduate of Hiroshima Jo Gakko, who has recently returned from a several year's stay in England and America, gave a talk on her experience with the Y. W. C. A. abroad. She also gave a very interesting account of the "Girl Guide Movement."

Yokohama Association.

The Yokohama Y. W. C. A. began its second year's work with a Saturday afternoon meeting for all members, the main purpose of which was to discover what part the association members of Yokohama could take in the work which is being done in these war times by women all over the world. Miss Kawai presented four plans of work for the Yokohama women, with the result that two French orphans are to have their support from ten or a dozen Japanese Ladies; and sixteen little warm coats and some money are to be sent to Russian babies.

The biggest event of the season was the bazaar on October 17th. The efforts of the girls were well rewarded by the attendance of more than a thousand guests.

Educational classes have begun as follows: English, 4 classes; cooking, 3; singing, 2; piano pupils, 7; gymnasium, 1; shorthand, 1.

"Happy Sunday Afternoons" have been started at the association rooms. Any girls who desire may come and enjoy music, stories, tea, and a friendly time together.

As our principal interest this last month was the bazaar, so our attention in this coming month will centre on a Bible Study Campaign, our aim being to have every association member studying the Bible in her own home, and, if possible, attending an association or a church Bible class.

Osaka Association.

The secretaries in Osaka have secured a house and Miss Emerson and Miss Hard may be reached at the address Young Women's Christian Association, Osaka.

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

VOLUME XIV — NOVEMBER, 1917 — NUMBER 10

The regular meeting of the National Committee of the Young Women's Christian Association was held on Saturday, October 13th, beginning at 2 p.m. During the morning, beginning at 10 o'clock, there was a conference of all committee members—National, Tokyo and Yokohama, and employed workers. After devotions led by Mrs. Ibuka, the meeting was addressed by Madame Asa Hirooka and Colonel Gumpei Yamamuro. Luncheon was served by the National Committee at 12:30. Between luncheon and the meeting of the committee, reports were made by the different associations of the work they were doing and plans for the future were discussed. Many practical suggestions were made, and much benefit was derived from this exchange of ideas. The addresses were most inspiring and the workers left the conference determined to do more work and better work than ever before.

A petition signed by fifty-three Christians in Kobe, requesting the committee to consider starting work for emigrants embarking from that port to America, was presented, and it was decided that Miss Kawai, and Miss Matthew should go to Kobe for preliminary investigation, and to form a provisional committee.

For some time now, through the assistance of Mrs. Ernest Trueman and other friends of the association in Nagasaki, the National committee has been able to help the girls embarking from that port for America. The women who have this work in charge have felt the need of more thorough organization, and have been anxious for a visit from someone to this end. The committee decided to send Miss Kawai. She left Tokyo for Nagasaki on October 20th, and remained until the 25th. A report of this visit will be made in our next issue. The W. C. T. U. is especially anxious to lend its assistance in this piece of work.

A pamphlet on emigration, written by Miss Kawai, is now being printed in Japanese. This pamphlet may be had for eight sen per copy.

The week of Prayer will be observed November 11 to 17. Translation of the English folder is now being made, and will be forwarded to our various branches before the 11th. A copy of this pamphlet will be mailed to any friend of the association upon request.

The National Committee decided to give a concert during the latter part of November for the benefit of the National work. The exact date has not been decided, but will be announced later.

Miss Marcia Dunham and Miss Clara Taylor spent a few days in Tokyo the latter part of October. They were on their way to Russia to join Miss Spencer aud Miss Boies. Miss Dickerson and Miss Ogden arrived on the 25th. These secretaries are being sent to organize association work in Russia.

女子青年界第拾四巻第十號（毎月一回一日發行）
大正六年十月廿八日印刷納本大正六年十一月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可